


リアホナ



預言者のそばで奉仕する,
12, 18 ページ

真実の教会とはどのような意味でしょうか,
24 ページ

先祖の生涯のストーリーから強さを見出す,
36 ページ



「サタンの最も効果的な武器は、
注意をそらすこと、
欺き、霊的な感受性を
鈍らせることです。……
〔それらが〕組み合わせることで、
**今の時代の大きな問題を
作り上げています。**」

ケビン・W・ピアソン長老



特集

- 6 ミニスタリングの原則——
人々の必要について話し合う
- 12 ダリン・H・オックス管長——
主の方法に従う
デビッド・A・ベドナー長老
- 18 ヘンリー・B・アイリング管長——
非凡な知性と
子供のような謙遜さ
ジェフリー・R・ホランド長老



表紙

A Majestic Monument (荘厳な記念碑), ジョリーマン・フォーマン画。ソルトレーク神殿の東の3つの塔は大管長会とメルキゼデク神権を象徴していると、かつてプリガム・ヤング大管長(1801-1877年)が語ったとされています(William Ward, in "Who Designed the Temple?" Deseret Weekly, Apr. 23, 1892, 578)。12ページと18ページから、今日の二つの「塔」である、大管長会のダリン・H・オックス管長とヘンリー・B・アイリング管長について理解を深めてください。

- 24 真実の教会
「聖徒たちを整えるため」
J・デビン・コーニッシュ長老
過去の教会指導者や教会員の完全さを見ることはないかもしれませんが、教会で教わる教義——キリストの教義——は完全だと確信できます。
- 26 聖徒たち——
教会の物語
第7章：ともに仕える僕
ジョセフとオリバーは翻訳中にバプテスマについて読み、指示を求めます。主は金版について証しする三人の人を用意しておられます。
- 36 信仰の力と家族のストーリー
アダム・C・オルソン
先祖がどのような生涯を送ったか知ることは、ロザリーンが試練のときに希望を見つける助けとなりました。

シリーズ

- 4 信仰の肖像——
リブレッツウィ・ゴフリー・
モクゲイトル——
南アフリカ, ハウテン州
- 10 壇上から——
自分のままでいる
ユッタ・パウム・ブッシュ
- 34 わたしの大会ノート——
2018年4月の総大会
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
生ける預言者たちに導かれて
マーク・E・ピーターセン長老



48

- 44 救い主を離れないで
ケビン・W・ピアソン長老
主から離れないために、わたしたちの証を強め続ける必要があります。
- 48 自分の中にある神性を見いだす
ダイアン・コース・ダ・シルバ
世間の目を通して自分自身を見ることで、わたしの個人の価値を見失っていました。

こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れているリアホナを
さが
搜しましょう。
ヒント——イエスが
あなたを愛している
ことをどのように
おぼ
覚えていますか？



52

- 50 あなたは安全ピンの友ですか
マリッサ・ウィディソン
わたしたちは悩んでいる友達を助けるために、小さな方法で愛を表現することができます。
- 52 希望の大使——
自殺を防ぐためにともに働く
マリッサ・デニス
自殺の危険な兆候や予防手段に精通してください。
- 56 紫禁城で迷子になる
サラ・キーナン
わたしはこの騒々しい紫禁城で、クラスメートをもう一度見つけることができるのでしょうか。
- 58 預言者ジョセフ・スミスと
あなたへの啓示
ライアン・カー
ジョセフ・スミスが示したように、個人の啓示を受けるための年齢制限はありません。
- 60 あなたの
選択の自由のための闘い
デビッド・ディクソン
もっと主に近づく、さらに選択の自由がもたらす自由を経験するでしょう。
- 62 わたしたちのスペース
- 64 ポスター——
イエス・キリストを信じる
まことの信仰
- 65 預言者——神の愛のしるし
ウリセス・ソアレス長老



75

- 66 光をかがやかせる——
思いやり、分かち合う
わたしは両親がほかの人へ殺物を分ける助けをするのが好きです。
- 68 信仰、希望、めぐみ——第2部
こたえられたいのり
メーガン・アームクネヒト
グレースはナチスがお父さんをとらえたあとに、家までうばってしまうのではないかと心配しました。
- 70 キリストについてあかしする使徒
ニール・L・アンダーセン長老
- 71 あらしをしのぐさけ所
ホアキン・E・コスタ長老
ノアは子供の時から主に従順だったので、そのあとに起きた洪水のときも守られました。
- 72 モルモン書読書クラブ
- 74 ステージうらでささげたいのり
エミリー・B
天のお父様はわたしがどこでのって聞いてくださいます。
- 75 何があっても！
クリスチャン・B
ぼくは、友達にどんなことがあってもイエス・キリストはあなたを愛しているよと伝えました。
- 76 聖文の物語——エリヤとやもめ
キム・ウェブ・リード
- 79 色をぬりましょう——
わたしは真実を伝えることができます

リアホナ 2018年9月号
第20巻9号(14753300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会:ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会:M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ペドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーツソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバンド、ゲリー・E・ステイブソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレ

編集長:ヒューゴ・E・マルチネス

編集長補佐:ランドール・K・ベネット、ベッキー・クレブソン

顧問:ブライアン・K・アシュトン、リグランド・R・カーティス、ジュニア、エドワード・デュベ、シャロン・ユバンク、クリスティーナ・B・フランコ、ドナルド・L・ホールストロム、ダグラス・D・ホームズ

実務運営ディレクター:リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター:アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー:ガフ・キャノン

編集主幹:アダム・C・オルソン

編集主幹補佐:ライアン・カー

出版補佐:フランシスカ・オルソン

執筆・編集:マリッサ・デニス、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットン、ローリー・フラー、ギャレット・H・ガフ、ラリー・ポーター、ガント、ジョン・ライアン、ジェンセン、シャーロット・ラーカバル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・パーカー、ジャン・ピンボロー、リチャード・M・ロムニー、ミンディー・セル、チャケル・ワードレイ、マリッサ・ウィティン

編集インターン:リー・パーソン

実務運営アートディレクター:J・スコット・クヌーセン

アートディレクター:タッド・R・ピーターソン

デザイン:ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・ベントレー、C・キンボール・ボット、トーマス・チャイルド、デビッド・グリーン、コリン・ヒンクレー、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、エミリー・チエコ、レミントン、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・テアー、K・ニコール・ウーゲンホースト

デザインインターン:シオネ・イヌキハナガナ

著作権および許諾コーディネーター:コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

制作:アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーデット、トーマス・G・クロニ、ブライアン・W・ギューギ、ギニー・J・ニルソン、デレク・リチャードソン

製版:ジョシュア・デニス

印刷ディレクター:スティーブ・T・ルイス

配送ディレクター:トロイ・R・バーカー

日本語版翻訳課長:大森陽子

郵便宛先:Liahona, FL, 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙]でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話:03-3440-2351

年間購読:国内 1,150円(送料込み)

海外 1,150円(+送料実費)

海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルメニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリル文字、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ルウエー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷:韓国

著作権情報:制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複写することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に復写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

September 2018 Vol. 42 No. 9. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

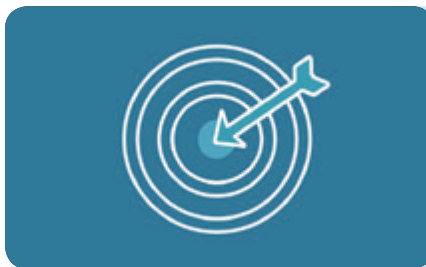
インターネットで得られる追加情報



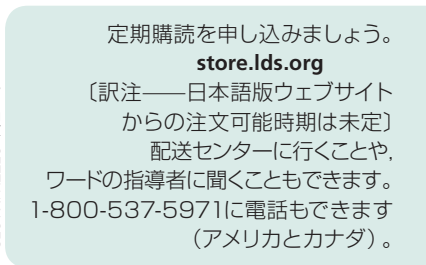
以下で記事を読みましょう。
記事を投稿することもできます。
liahona.lds.org



心を鼓舞し、
共有できるメッセージを
以下で見つけましょう。
(英語、ポルトガル語、スペイン語)
facebook.com/liahona



ご意見・ご提案は以下まで
お寄せください。
liahona@ldschurch.org



定期購読を申し込みましょう。
store.lds.org

(訳注——日本語版ウェブサイト
からの注文可能時期は未定)
配送センターに行くことや、
ワードの指導者に聞くこともできます。
1-800-537-5971に電話もできます
(アメリカとカナダ)。

PHOTO: GETTY IMAGES

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 75
証, 44, 62
イエス・キリスト, 44, 60, 65,
70, 75
祈り, 56, 63, 68, 74
家族歴史, 30
逆境, 4, 36, 42
教会歴史, 24, 26, 58
教会指導者, 12, 18
緊急時の備え, 42
啓示, 26, 58, 80
個人の価値, 10, 43, 48, 75

コミュニケーション, 6
自殺予防, 50, 52
従順, 60, 71
正直, 79
ジョセフ・スミス, 26, 58
神権, 26
信仰, 24, 36, 44, 68, 76
聖霊, 56, 58
選択の自由, 60
総大会, 34
知恵の言葉, 41
仕え, 教え, 導く, 6

天の御父, 43
母親, 40
バプテスマ, 26
奉仕, 6, 42, 66
モルモン書, 4, 22, 72
友情, 50, 52, 63
預言者, 12, 18, 26, 76, 80

信仰の肖像

リブレッツウィは21歳のときに失明しました。彼は多くのことを学び直しましたが、点字を学んだことはありませんでした。聖文を読みたかった彼は、助けを求めて神に祈りました。

コディー・ベル, 写真家

リブレッツウィ・ゴフリー・モクゲイトル

南アフリカ, ハウテン州

ある家族をホームティーチングで訪れたとき、わたしは訪問先の姉妹にこう言いました。「わたしは目が見えないので聖文を読めないのです。点字の読み書きを学べる学校へ行きたいと思っていますんです。」

彼女のきょうだいは盲学校で働いていて、入校の申し込みを助けてくれました。わたしは毎日点字の勉強をしました。夜中に起き出して読む練習をしたぐらいです。そしてわずか4か月で読めるようになりました。

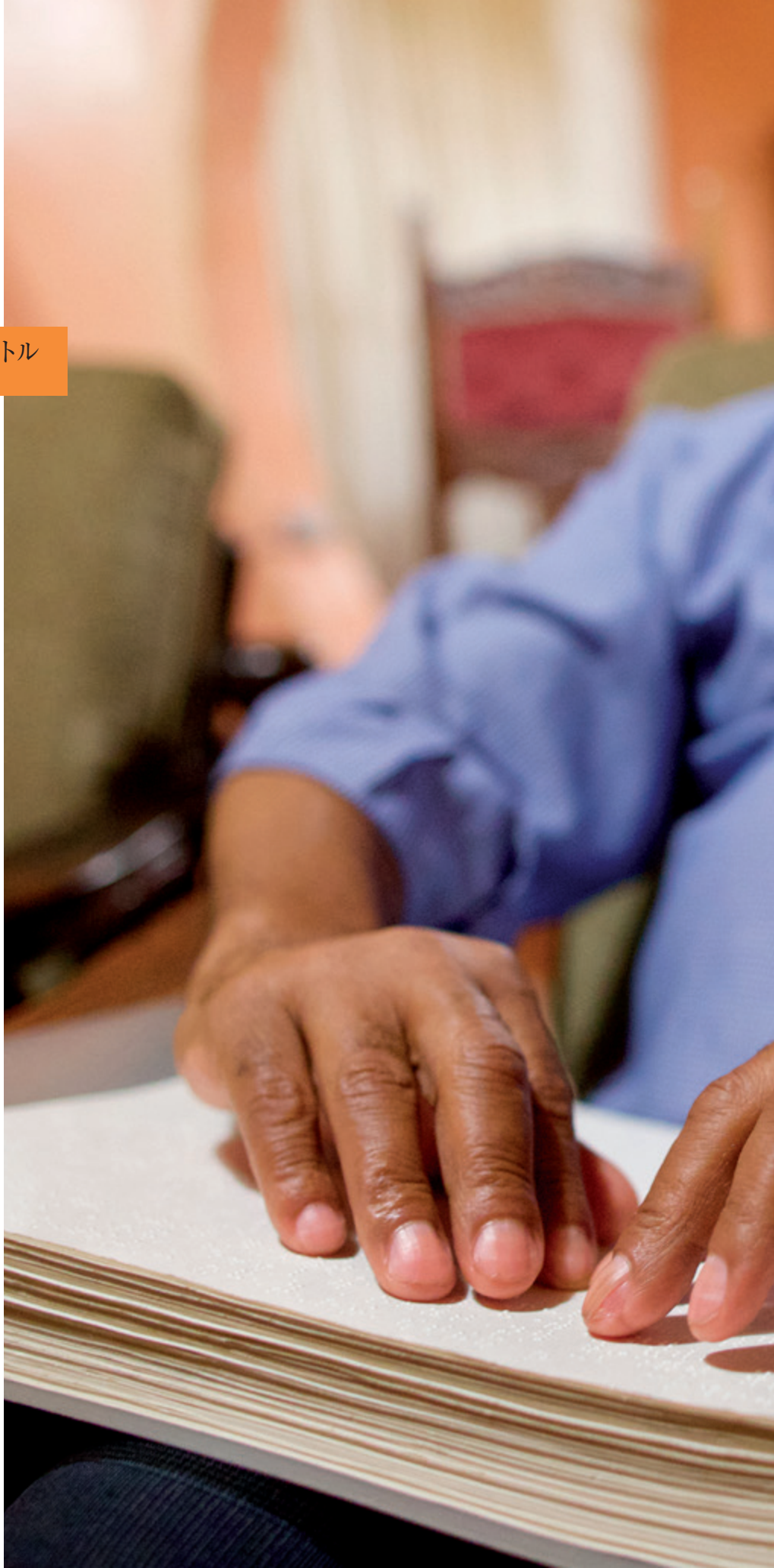
学校を終えたわたしは、点字が読めるようになったことを支部会長に伝えました。支部会長は点字で書かれた神権会の手引きと聖典一式を箱にまとめて渡してくれました。そのようなものが教会にあるとは知りませんでした。おかげでわたしは福音をより深く理解し、楽しめるようになりました。

わたしは聖文が真実であることを知っています。読む度に学び、必ず何かを得ることができるのです。

もっと読む

教会が提供する障がいに関するリソースについては、lds.org/go/9184 参照してください。

「信仰の肖像」のほかの記事は、lds.org/go/18 でご覧になれます。





ミニスタリングの原則

人々の 必要について 話し合う

ミニスタリングを一人で行う必要はありません。
話し合えば、人を助けるために必要な支援を得る
ことができます。

神はワードや支部の個人または家族の必要に応じて
ミニスタリングを行うよう皆さんを招いておられま
す。どうしたらその人たちの必要を知ることがで
きるでしょうか。教会でずっと強調されてきた評議の原則、
すなわち話し合いの原則が鍵となります。

何について話し合うべきか相談してから、以下のことを検
討してみましょう。

1. 天の御父と話し合う。
2. 割り当てられた個人や家族と話し合う。
3. 同僚と話し合う。
4. 同じ個人または家族にミニスタリングをするよう割り当
てられている人たちと話し合う。

指導者と話し合うことも欠かせません。『リアホナ』の
「ミニスタリングの原則」には将来、指導者との話し合いと、
その過程においてミニスタリング面接の果たす役割につい
て考える記事が掲載される予定です。

話し合う事柄

互いにミニスタリングを行ううえで欠かせないのが、相手
の必要を理解することです。必要にはどのようなものがあり
得るでしょうか。また、必要以外にも知るべき事柄はあるで
しょうか。

必要には様々な形があります。仕える相手が情緒的、経
済的、身体的、教育的、そのほかの問題を抱えている可能性
があります。優先順位の高い事柄もあります。わたしたち自
身で助けられるものもあれば、ほかの人の助けを借りなけれ
ばならないものもあるかもしれません。物質的必要を満た
そうと努力するときに忘れてならないのは、ミニスタリングの
召しには人々が聖約の道を進み、昇栄に不可欠な神権の儀
式のために備え、それを受けられるように助けることも含ま
れるということです。

個人や家族の必要について話し合うだけでなく、彼らの
強さ、つまり優れた点を知るように努力すべきです。彼らに
とって助けの必要でない事柄は何でしょうか。ほかの人々を
祝福できる、どのような能力や賜物を持っているでしょうか。
神の国を確立するうえで、彼らが特別に力になれることがあ
るでしょうか。個人の強さを知ることは、その人の必要を知
ることと同じくらい大切かもしれません。

1 天の御父と話し合う

わたしたちの教会の重要な信条の一つは、天の御父が御自身の子供たちに語られるということです(信仰箇条1:9 参照)。新しいミニスタリングの割り当てを受けたら、祈りを通して天の御父と話し合い、相手の必要と強さを見極めて理解できるように願い求めるべきです。祈りによる御父との話し合いは、ミニスタリングの割り当てがあるかぎり続けなければなりません。



「ミニスタリングの原則」は、互いを思いやる方法を学ぶためのものであって、メッセージとして伝えるものではありません。割り当てを受けた相手をよく知るようになると、聖霊の促しによって、彼らを心にかけて、思いやっていることを伝える方法が分かるだけでなく、彼らが必要としているメッセージも分かるようになります。

IMAGES FROM STOCKADOB.COM AND GETTY IMAGES

2 個人や家族との話し合い

仕えるよう召された相手の人や家族に対して、いつ、どのようにアプローチするかは状況によって異なります。しかし、その個人や家族との関係を築くうえで、またどのような助けを望んでいるかも含めて、彼らの必要を理解するうえで、直接話し合うことが不可欠です。質問によっては、意義深い関係が築かれるまで待たなければならないという決まりがあるわけではありませんが、以下のことを考慮してみましょう。

- いつ、どのような形の連絡方法を望むかを尋ねる。
- 彼らの興味と背景について学ぶ。
- 助けるアイデアを準備したうえで、相手に意見を聞く。

信頼関係が築かれたら、個人または家族の必要について話し合うことを考えてみましょう。聖霊の促しに従って質問してください。¹ 以下がその例です：

- 彼らが直面している問題は何か。
- 家族または個人の目標は何か。例えば、もっと定期的に家庭の夕べができるようになりたいとか、もっと自立したいなど。
- 彼らの目標や問題について、わたしたちはどのような助けができるか。
- 近々福音の儀式を受ける予定があるか。それは何の儀式か。どのように準備を助けることができるか。

助けを申し出るときは、「今週どの日に夕食を持って行きましょうか」などと、具体的に申し出るようにしてください。「何かできることがあったら連絡してください」といった漠然とした申し出はあまり役に立ちません。



3 同僚と話し合う

個人や家族と接触するとき同僚と一緒にいないこともあるので、前もって同僚と一緒に調整し、靈感を求めて話し合うことが大切です。以下の質問を考慮するとよいでしょう：

- 同僚として、どのような手段と頻度で連絡を取り合ったらよいか。
- 自分たちそれぞれが持つ強さを活用して家族または個人の必要にこたえるにはどうしたらよieldろうか。
- 割り当てられた個人または家族について最後に話し合ってから、新たに知ったこと、経験したこと、受けた促しは何か。

4 割り当てを受けているほかの人たちと話し合う

同じ個人または家族にミニスタリングを行う割り当てを受けている人たちと時々話し合うとよいかもしれません。

問題を解決するために意思の疎通を図る

七十人の黄^{ウォン}(サム)志^{ナホン}康長老は、マルコによる福音書第2章にある出来事を現代に置き換え、4人の人が話し合い、中風の人をイエスの前に連れて行く方法を見つけたことができたことを教えています。

「現代なら次のようになるのでしょうか」と黄長老は言いました。「4人の人たちがビショップから中風の男性の家に行くように割り当てを受けて、それを果たしていました。……つい最近のワード評議会では、ワードの必要についても評議した後、ビショップが『救助の割り当て』を要請しました。この男性を助けるという割り当てを受けたのがこの4人です。……」

〔イエスがおられる建物に着くと、〕部屋は人がいっぱい、ドアから入ることができません。彼らは思いつく限りの手段を尽くしたに違いありません。でも、どうしても中に入ることができません。……4人は、どうしたらその人をイエス・キリストのもとに連れて行って癒してもらえるか、そのために次にどうしたらよいか話し合いました。……そして、ある計画を思いつきました。簡単ではありませんでしたが、彼らはそれを実行しました。

『イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろし〔ました〕。』(マルコ2:4)……

『イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、「子よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。』(マルコ2:5)²



良い関係を築くことも話し合いをするうえで重要です。『リアホナ』2018年8月号、6ページにある「ミニスタリングの原則——意義深い関係を築く」も参照してください。

行動を促す

十二使徒定員会のディーター・F・ワークトドルフ長老は次のように勧めています。「ともに話し合い、利用できるあらゆる手段を使い、聖霊の導きを求め、主に確認を求め、その後、袖をまくって仕事に取り掛かってください。

もしこの規範に従うなら、主の方法でだれを、何について、いつ、どこで助ければよいか具体的な導きを受けられると約束します。」³ ■

注

- 1.『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』(2004年)、183参照
- 2.黄(サム)志康「一致して救助する」『リアホナ』2014年11月号、14-15参照
- 3.ディーター・F・ワークトドルフ「主の道にかなって助けをなす」『リアホナ』2011年11月号、55参照

自分のままでいる

ユッタ・バウム・ブッシェ

このシリーズでは、書籍『壇上から——末日聖徒の女性による説教の185年』(At the Pulpit: 185 Years of Discourses by Latter-day Saint Women (2017))から抜粋した献身的な女性とそのメッセージを採り上げます。この記事は7つのほかの章とともに「福音ライブラリー」アプリ〔英語〕、もしくは churchhistorianspress.org/at-the-pulpit〔英語〕で閲覧することができます。

ユッタに移り住んだときに様々な調整を余儀なくされたことをよく覚えています。ワードでの最初の召しは、扶助協会の教師として奉仕することでした。ほかの教師をととも注意深く観察すると、彼女たちが完璧に教えられるよう努力していることに胸を打たれました。姉妹たちの整えられた髪型や清潔な洋服までもが、完全を目指して努力している証のようにわたしの目に映りました。教師たちが英語を流ちょうかつ正確に操ることに感服しました。英語が堪能でないわたしが、彼女たちと肩を並べ、彼女たちの教師になるにはどうすればよいのでしょうか。わたしは学びたくてたまらなかつたので、扶助協会教師のためのステーキの準備クラスがあることを耳にして、とてもうれしく思いました。

最初に訓練集会に出席したとき、わたしは希望に満ちていました。ところが、自分が教えるとしたらどのようなセンターピース(教壇を飾るもの)を使うかという問いに対して、心の準備ができておらず、ふがいなさを感じました。センターピースという言葉の意味を知らませんでしたし、レッスンでどのような目的で使うのかも分かりませんでした。自分に対する否定的な感情が押し寄せ、自信を失っていきま

した。……

ワードの姉妹たちが庭に植物を植え、その作物を缶詰にするのを眺めながら、劣等感を抱き続けていました。姉妹たちは、日々ジョギングをして運動していました。裁縫し、安く買い物をしていました。……若い母親や近所の病人に夕食を届けていました。年老いた親を、時には二人も面倒を見ていました。……忠実に神殿儀式を行い、日記が遅れてしまわないよう気をつけていました。

自分の周りの完全な模範におじけづき、わたしはその姉妹たちのようになれるようさらに努力しました。しかし、毎朝走ってはおらず、お手製のパンを焼かず、自分の洋服を縫わず、大学にも行かない自分に落胆し、罪悪感さえも抱くようになりました。一緒に暮らしている女性たちのようになる必要があると思っていましたし、彼女たちの生活様式に順応できないわたしは失敗していると思っていました。

当時のわたしに、ある6歳の子供の話の聞かせられたらよかったと思います。親戚に「何になりたいの?」と聞かれた子供が、「自分のままでいたい」と言ったという話です。「ほかの人になろうとしたけど、うまくいかなかったの。」この子供のように、だれ



ブッシェ姉妹について

ユッタ・バウム(1935年生まれ)は、ドイツのドルトムントで育ちました。1955年にエンツィオ・ブッシェと結婚し、二人は1958年1月19日にドルトムントの公営プールでバプテスマを受けました。

1977年10月、二人はベルリンの大会に出席し、当時教会の地区代表を務めていたエンツィオはスペンサー・W・キンポール大管長(1895-1985年)の通訳をすることができました。大会の最後に、キンポール大管長はエンツィオと個人的に話し、七十人第一定員会で奉仕するようエンツィオを招きました。専任の職であったため、ブッシェ一家は引っ越さなければなりませんでした。

ブッシェ夫妻に最初に割り当てられた地はドイツのミュンヘンで、そこでエンツィオはこの伝道部を2年間管理し、その後1980年にユタ州に引っ越しました。二人は世界中の教会員のもとを訪れるためかなりの旅をし、ユッタも夫とともに地区大会で話をしました。

1987年にドイツ、フランクフルト神殿が奉献されると、二人は神殿会長とメイトロンになりました。ブッシェ姉妹は神殿ワーカーを務めたことがなく、ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)は訓練セミナーで彼女にこのように助言しました。「最も大切なことは、愛して愛して愛し抜くことです。」ブッシェ姉妹はこの助言を心に刻みました。ブッシェ姉妹は神殿ワーカーたちに、参加者が神の御霊を感じられるように助けることを最優先するよう言いました。

このメッセージは、ブッシェ姉妹が1989年にブリガム・ヤング大学女性の大会で行った説教からの抜粋です。

かになろうとしては失敗を繰り返していたわたしは、ようやく自分らしくあるべきだということを学びました。しかしながら、それが簡単でないことがよくあります。なぜなら、なじみたい、張り合いたい、良い印象を与えたい、あるいは単に認められたいという望みは、他人をまねし、自分の背景や才能、重荷や課題の価値を低めることへつながるからです。……わたしは、自分が感じていた、周りと同じでなければ劣っているのではないかという不安を克服する必要がありました。

……すばらしい姉妹たちをまねして、特別なセンターピースや、なじみのない教授技術を使いながらクラスを教えると、失敗しました。御霊はまだ英語ではなくドイツ語で語りかけていたからです。しかし、ひざまずいて助けを求めると、導きを与えてくれる御霊に頼り、自分は神の娘だと知って安心できました。わたしは、天の御父から愛され、受け入れられるために、人と競う必要はないことを学び、それを信じなければならなかったのです。

……わたしたちは、演じたりまねしたりするのではなく、御霊により変わるよう努力しなければなりません。……

多くのプレッシャーがわたしたちをこの世に結びつけます。心が正直であることにより、わたしたちは自分に対する神の御心を自由に見いだすことができます。……

……日々の問題や、成長のための機会のことで手いっぱいになってしまうかもしれませんが、自分自身の内なる力に気づかず、1日、あるいは1分たりとも生きる余裕はありません。■





十二使徒定員会
デビッド・A・
ベドナー長老

ダリン・H・オークス管長 —

主の方法に従う

オークス管長は、主が自分に何をしよう望んでおられるかが分かると、それを実行します。

19 84年4月に十二使徒定員会会員の務めに召されてから、ダリン・H・オークス長老は、新たに受けた役割と、必然的に起こる生活の変化について、深く考えました。

オークス長老が個人的な「網」と職業的な「網」を捨てるよう求められたのは(マタイ4:18-20参照)、これが初めてではありません。1970年に、教会の指導者たちの招きに応じ、シカゴ大学法科大学院で教鞭を執る地位を辞して、アメリカ合衆国ユタ州プロボにあるブリガム・ヤング大学の学長になったのです。シカゴでは、教え、研究を指揮し、法学生たちと交流することに大きな喜びを感じていました。しかし、BYUの第8代学長を務めるという要請に、信仰をもってこたえたのです。

オークス長老は1984年に十二使徒に召されたとき、似たような状況に直面しました。再び、ユタ州最高裁判所判事という愛する地位と仕事を捨てたのです。しかし、この変化は違っていました。

オークス長老は1970年の時点で、BYUでの務めが終わったら法曹界に戻ろうと考えていたとしても不思議はありませんし、事実そうしたのです。しかし、1984年の召しは明らかに異なりました。自らの魂と全人生を主にささげるといふ神聖な決意が求められたの

です。新しい責任には永遠の重要性があり、対象となるのは全世界です。ほんとうに圧倒されました。

オークス長老は、この重大な節目で心の底から思ったことを、こう表現しています。

「この内省の時期に、残りの人生をどう生きようかと思い巡らし、自分はどんな使徒になるつもりなのかと自問しました。

使徒に召された法律家になるのか、それともかつて法律家であった使徒になるのか。この問いへの答えは、自分の資格や経験に合わせて召しを形造ろうと

するのか、それとも召しに合わせて自分を作り上げようとする痛みの伴う過程をたどるのかによって、変わってくるという結論に至りました。

世の方法で自分の召しを果たそうとするのか、それとも主の方法を知ってそれに従うのか。





救い主を信じる信仰

オークス管長は、イエス・キリストが神の御子であられることを聖霊の力によって知るといふ霊的な賜物に恵まれています(教義と聖約 46:13-14 参照)。そして、救い主の教義を分かりやすく教え、確信をもって救い主について証します。主は、オークス管長の人生のあらゆる側面で光となっておられます。ダリン・H・オークス管長は、主が自分に何をしよう望んでおられるかが分かると、それを実行します。

オークス管長は、長年にわたり、その教えを通して、教会員が福音の原則をさらによく理解できるよう助けてきました。御父の救いの計画の目的と大切さ、救い主の贖罪、神権の権能と鍵、神聖な聖餐の儀

わたしは、召しにふさわしく自分自身を変えるように努めよう、使徒としてのふさわしさと霊性が身につくよう努力しようと決心しました。これは、生涯にわたる課題です。」¹

主の聖なる恵みと人生経験、支えてくれる家族、熱心な研究と学習、努力、愛を込めて行う奉仕によって育まれた個人の資質と自制心、これらのおかげで、オークス長老は「主の方法に従う」、元法律家の雄々しい真の使徒になったのです。

ダリン・H・オークス管長の人生と務めには、多くの霊的な賜物が如実に表れています。

3人の子供のうち最年長であるダリン(左端)は、父親が亡くなったとき、わずか7歳でした。子供時代に数か月間、バイオリンのレッスンを受けたが、長年にわたり、寡婦である母親を助けました。

式、単に「行う」のではなく「性質を身につける」過程、人生で良いもの、より良いもの、最高に良いものの区別、そのほかの多くの原則です。そのシンプルで整然とした福音学習へのアプローチは、全世界の末日聖徒の信仰を強固なものにしてくれました。

誠実

オークス管長は誠実な人です。その信念と行動は福音の原則に基づいており、自分が信じていることを生活の中で実践しています。ご都合主義は彼の選択肢の中には断じてありません。たとえ一連の行動が自分の名声や見解を高めないとしても、オークス管長は正しいことを行うと



ところが、ともに評議していたとき、前任順位の低い十二使徒の一人が、その方法に基本的には賛成するものの提案された時期に実施することにはためらいを感じると言ったのです。オークス長老は「わたしはこの件に関して、あなたよりも経験があると思います」などと言い返すこともできたはずですが、でも、そうはしませんでした。自分を擁護しようとする態度や憤りをみじんも見せることなく、定員会のその会員にこう尋ねたのです。「実施時期に対してあなたが感じるためらいについて、わたしが理解できるように説明していただけますか。」

その使徒の言葉によく耳を傾けた後、オーク

固く決意しているからです。彼の人生に近道はありません。正しいことをするか、何もしないかです。

彼の誠実さは、難しい問題や割り当てに進んで取り組むところに表れています。そして、それを非常に優れた方法、つまり、主の方法で行うのです。伝統的な家族を擁護すること、信教の自由に対する脅威に対処すること、大人の身勝手な罪から子供たちを守ること、ボルノグラフィの悪を非難することなど、様々なテーマについて、単刀直入に教えてきました。

柔和

オークス管長の個人的および職業的な業績は、どの基準から見ても群を抜いています。しかし、オークス管長は柔和な態度と霊的な受容性を発揮して、聖霊からも、多種多様な背景と経験を持つ人々からも学んでいるのです。

ある定員会集会で、オークス長老は、自分が取るべきだと信じている行動について強く主張したことがありました。はっきりと説明した理由には説得力があり、その件に関して彼には幅広い知識がありました。その行動を推奨する論調には、有無を言わさぬ迫力がありました。

オークス管長と亡き妻ジューンには、4人の娘と2人の息子がいます(末の子はこの写真の撮影後に生まれました)。

ダリン・オークスはラジオのアナウンサーや送信技術者として働きました。ジューンとの出会いは、大学1年生で高校のバスケットボールの試合のアナウンサーをしていたときのことでした。二人は1952年に結婚しました。



ス長老は少し考えてからこう言いました。「重要なご指摘です。わたしはこの件について実施時期がどんな意味を持つかをあなたのように深く考えたことはありませんでした。この提案は、ここで話し合ったことに基づいて変更すべきだと考えるようになりました。」

オークス長老は同じ定員会の会員の意見に耳を傾け、そこから学んで主の御霊の柔和な道を歩み(教義と聖約19:23参照)、望ましい結果が出るようにしたのです。ダリン・H・オークスにとって大切なのは、決して、自分が何を望んでいるかではありません。大切なのは、常に、主

が何を望んでおられるかであり、主の方法に従うことなのです。

識 別

オークス管長は霊的な識別の賜物と、提案や決断、行動の長期的な結果を認識する能力にも恵まれています。この能力に優れていることは、「それで将来どうなるでしょうか」という問いかけを自分にもほかの人にもすることに表れています。² オークス管長と話したことのある人や評議会で話し合ったことのある人は皆、彼の奉仕期間中に、この能力によって無数の人や家族、教会全体がいかに祝福されてきたかが、直ちに分かります。

1970年のある夏の夜、オークス管長はシカゴのサウスサイドで、駐車していた車に戻ろうとしたときに、銃を持った強盗に出くわしまし

た。妻のジューンは車の中で待っています。

「金を出せ。」強盗は要求します。

「持っていない」と言って、オークス兄弟は空の財布を見せました。

すると、「車の鍵をよこせ」と言います。鍵は車の中でした。車にはオークス姉妹がいて、鍵がかかっています。「車を開けさせろ」と強盗はあくまでも要求します。オークス兄弟は拒否しました。

強盗は脅しました。「開けさせるんだ。さもないと殺すぞ。」

「できない。」オークス兄弟はきっぱりと言いました。

押し問答を繰り返して強盗から強迫されている隙に、オークス兄弟は、その若者から銃を取り上げるチャンスを見つけました。オークス管長は、そのときのことを1992年の総大会の話でこう説明しています。「今まさに腕を動かそうとしたそのとき、わたしはかつてない経験をしました。何かを見たとか、聞いたとかいうのではありませんが、わたしはそのとき、確かに何かを**知**ったのです。わたしがその銃を奪えば、もみ合いになり、わたしは銃口をその若者の胸に向けて銃は火を噴き、彼が死ぬということを知ったのです。また、その若者の血を流して、生涯自分の良心に責めを負うようなことをしてはならないことも、理解しました。」³

こうして識別の賜物が奇跡的に働いたおかげで、オークス管長は、強盗との対決を切り抜けることができ、結局は自分の命も若い強盗の命も救われたのです。

最近わたしたちは、宣教師管理評議会の会議で、世界の特定の地域で伝道する宣教師に関する提案について話し合っていました。議長を務めていたのはオークス長老です。その件について評議会の全員が見解を表明した後、オークス長老は幾



1932年:アメリカ合衆国ユタ州プロボで生まれる。

1949年:朝鮮戦争の1年前にユタ州兵に参加する。

1952年:ジューン・ディクソンとソルトレーク神殿で結婚する

1954年:会計学の学士号を取得してプリガム・ヤング大学を卒業する。

1957年:シカゴ大学法科大学院を卒業する。

1957-1958年:連邦最高裁判所長官アール・ウォーレンの補佐官を務める。

1958-1961年:アメリカ合衆国イリノイ州シカゴで弁護士として働く。

1961-1970年:シカゴ大学法科大学院で法学を教える。

1971-1980年:プリガム・ヤング大学の学長を務める。

1980-1984年:ユタ州最高裁判所判事を務める。

1984年:十二使徒定員会に召される。

1998年:6人の子供の母親であるジューン・ディクソン・オークスが死去する。

2000年:クリステン・M・マクメインとソルトレーク神殿で結婚する。

2002-2004年:フィリピンで地域会長を務める。

2018年:大管長会第一顧問に召される。



つか質問し、分かったことをまとめると、こう言いました。「この件についてはまだ決める段階に至っていないと、わたしは感じています。わたしたちは主を待ち望むべきであって、最終的な結論を今、下すべきではありません。」

何か月かたつと幾つかの出来事が起こり、靈感を受けて決断を先送りにしたことに劇的な注目が集まりました。オークス長老の靈感を受けた指導の下で評議が行われた結果、祝福されて、適切なときに、適切な決断が、主の方法で下されました。そして、宣教師が守られ、御業が進展するようになったのです。

ユーモアのセンスと優しさ

オークス管長には、楽しいユーモアのセンスがあります。例えば、十二使徒全員が出席したある昼食会が終わるころ、ある幹部の兄弟が、こんなにおいしい食事を堪能した後で午後に居眠りせずにいるのは難しいと言ったことがあります。すると、オークス管長は満面の笑顔を見せてこう答えたのです。「それは、いい寝場所が見つからなかったときだけですよ。」

オークス管長はよくおどけて、自分の髪の毛が薄いことを冗談の種にしますが、髪の毛があまりない人の強力な擁護者になることもできます。よくこう言います。「高潔で偉大な人は頭上にその輝きをあらわにします。」

彼の温かさや機転の利いたジョークは人の心を引きつけますし、彼は常に思いやり深く親切です。人はオークス管長と一緒に過ごした後でよく、非常に気持ちよく過ごせるようにしてもらったと言います。それは、ユーモアのセンスと心からの愛、それに、思いやりに満ちた物腰のためなのです。

義にかなった女性の影響力

その輝かしい人生が業績と榮譽に彩られているオークス管長はまず、自分の人生に深い影響を与えた、義にかなった女性として、次の3人を挙げます。それは、ステラ・ハリス・オークス、ジューン・ディクソン・オークス、クリステン・M・マクメイン・オークスです。

医師である父親のロイド・E・オークスが結核のため37歳の若さで亡くなったのは、ダリン・オークスが7歳のときです。埋葬されたのは、オークス管長の母親、ステラ・ハリス・オークスとの結婚11周年となる日でした。彼女はその後

生涯ずっと独身で、3人の子供を育てました。

「わたしはすばらしい母親に恵まれました」と、オークス長老は当時を思い起こして言っています。「母は実に、末日に生まれた高貴な女性の一人でした。」⁴

オークス管長はBYUの1年生のときにジューン・ディクソンと出会います。二人は1952年に結婚し、祝福されて6人の子供の親になりました。「常に高いレベルを達成するようになったのは、人生をジューンと一緒に歩むようになってからです」とオークス管長は言います。「わたしがこれほど多くのことを成し遂げられたのは、ひとえに彼女のおかげです。」⁵ 1998年7月21日、ジューンはがんで亡くなりました。

ジューンとダリンは、ジューンが亡くなる前に、家族の将来について話し合いました。再婚がダリンと子供たちのため



に祝福だということで、意見が一致しました。2000年8月25日、オークス管長はクリステン・M・マクメインと結婚しました。

クリステン・オークスは、オークス管長との生活を「わたしたちは主の業において一致しており、それはわたしたちに数え切れないほどの祝福を降り注いでくれています」という一言で表現しています。家族全員が集まるととても楽しいので、クリステンは、できるかぎり頻繁に家族が集まる場を用意しています。ジューンのことは必ず話題に上ります。

オークス管長は、「家族——世界への宣言」の中で述べられている真理について教え、証しますが、父親であり夫であることの大切さを自分の経験から知っています。夫と妻

がともに担う責任について、非常に重要な教訓を学んでいたのです。それは、「互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示し、これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという」責任です。⁶ オークス管長は常に、力を尽くして、主の方法に従って家庭生活を送ってきました。

生涯にわたる献身

2018年4月6日、ラッセル・M・ネルソン大管長が末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長、ダリン・H・オークス管長が大管長会第一顧問、



大事にされていると人々に感じさせることで知られているオークス管長は、全世界を巡って教え、導き、福音を分かち合ってきました。

左：2018年度ルーツェック家族歴史大会で家族のつながりを作ることに ついて話すオークス管長と現夫人のクリステン。

ヘンリー・B・アイリング管長が第二顧問として支持されました。

オークス管長は、「冷静かつ堅実に生涯をかけて献身する気持ち」で、⁷つまり、救い主と回復された主の教会に生涯をささげる気持ちで、末日聖徒イエス・キリスト教会の管理定員会における新しい割り当てを受けています。オークス管長自身の、弟子としての働きと力強い教え、常に変わらない義にかなった模範は、全世界の人々に良い影響を与え、彼らが主の方法に従うための助けとなることでしょう。■

注

1. Dallin H. Oaks, *The Lord's Way* (1991), 7.
2. See Dallin H. Oaks, "Where Will It Lead?" (Brigham Young University devotional, Nov. 9, 2004), speeches.byu.edu.
3. ダリン・H・オークス「聖書の物語と個人的な守り」『聖徒の道』1993年1月号、46 参照
4. ドン・L・サール「ダリン・H・オークス長老——ほかの使徒たちを見習って」『聖徒の道』1985年10月号、20 参照
5. Dallin H. Oaks, "The Student Body and the President" (Brigham Young University devotional, Sept. 9, 1975), 6, speeches.byu.edu.
6. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145
7. See Dallin H. Oaks, "The Dedication of a Lifetime" (Church Educational System fireside for young adults, May 1, 2005), 2, broadcasts.lds.org.



十二使徒定員会
ジェフリー・R・
ホルランド長老

ヘンリー・B・アイリング管長 — 非凡な知性と 子供のような謙遜さ

ヘンリー・B・アイリング管長の生き方と人格は、多くの面で純粹であり、時に逆説的でもあります。

ヘンリー・B・アイリング管長の息子の一人が最近、こう言っていました。「父のことは、『純粹な動機』という短い言葉で表現できます。」ラッセル・M・ネルソン大管長のこの新しい第二顧問に会ったことのある人や、彼が人と交流する様子を見たことのある人、彼の説教を聴いたことのある人は皆、大きくうなずくはずです。確かに、驚くほど多様な側面を持つハル・アイリングの人生は（彼は家族や友人からいつも「ハル」と呼ばれている）、非常に純粹な徳の、長い期間にわたる表現であり、一つの「純粹な動機」の継続的な現れに見えるかもしれません。つまり彼は、神が御自身の子供たちに望んでおられることを、まさしく言葉と行いで実践しているのです。

これを目指すアイリング管長の方法は、職務そのものと同様に分かりやすく明快ですが、大変さは変わりません。子供のころから80代の現在に至るまで、ハルは神の御前で義とされるためにこの努力を続けてきました。そのために聖霊の導きを熱心に求め、その導きなしに物事を行うことはありません。聖霊は天から遣わされる伴侶であり、ハルのほとんどすべての会話とハルの下す管理上の決定、ハルが述べる公式の宣言の中で言及される御方です。聖霊を伴侶とすることは、ヘンリー・B・アイリン

グにとって、日の栄えの栄光に達するための最も重要な手段なのです。それは彼の持つ、真に子供のような謙遜さの現れであり、並外れた霊的純粹さの証拠です。

皮肉なことに、彼の多くの逆説的な生き方が、この純粹さをさらに際立たせています。ノーベル賞候補者になった化学者の子として生まれ、父の名前を受け継いだハルは、物理学と化学の勉強を始めましたが、研究分野としては、アイリング家の伝統とはかけ離れた、経営学を選びました。莫大な富を手にする方法を知っていながら、アイリング管長と妻のキャスリーンは、結婚生活ではいつも質素につつましく暮らし





た。時には苦痛なほど儉約したそうです(少なくとも、子供たちは笑いながらそう述べています)。アメリカ合衆国の一流大学の一つで専門教育を受け、別の大学で専任の教授としてある期間働き、3番目の大学では客員研究員を務めました。比較的若い年齢でこれほど高い学内の地位に就くことは、なかなかできません。それなのにハルは学術研究の分野で得ていた地位と職業的な安定を捨てて、実質的には無名の(少なくともハーバード大学やスタンフォード大学、MIT [マサチューセッツ工科大学] の職員にとっては無名)、短期大学の学長に就任したのです。それは彼自身、人に聞かれても地図で

左: アメリカ合衆国ニュージャージー州で子供時代を過ごしたヘンリー(母親の隣)は、集会に集う教員がほとんどいなかったにもかかわらず、子供のころに証を得ました。13歳のとき、父親がユタ大学に職を得たために、家族とともにユタ州に転居しました。ソルトレーク・シティにある東高校でバスケットボールをしました。

指さすことのできない市、アメリカ合衆国アイダホ州レックスバークにある、彼自身訪れたことのない「リックスカレッジ」という短期大学でした。

純粹さと逆説的な生き方はその後も続きます。普通では考えられないほどの優秀な知的資質がありながらも、アイリング管長は霊的な影響を及ぼす事柄を決定する際に、自分の才能や手腕に頼ろうとはしません。必要とあればあくまでも大胆に、しかも、通常の「強硬」の定義を超えた強硬さをもって、M・ラッセル・バラード会長(とアイリング管長自身の子供たち)が言うように、決して「急がされ軽率に決断を下し、熟考することなしに決断を下すことはありません。教会や、自分の責任下にある人を危険に

さらすような行動を取ることは、決してありません。』¹

ヘンリー・B・アイリングのまさに心の中心にある純粹さと逆説的な生き方が決定的に一つに集積された結果として、このすばらしい人物の誠実さがあるのかもしれませんが。

あるとき、アイリング管長は、ワードの通常の聖餐会に出られない人たちに聖餐を提供する必要に迫られました。この親切な行いをする前に、彼はワードのビショップに取り急ぎ電話をして、聖餐を提供する許可をもらえるか、問い合わせました。もちろん、ビショップは快く愛を込めて許可しました。



1933年:アメリカ合衆国ニュージャージー州プリンストンで生まれる。

1955年:物理学学士号を取得してユタ大学を卒業する。

1959年, 1963年:経営学の修士号と博士号をハーバード大学で取得する。

1962年:ユタ州ローガン神殿でキャスリーン・ジョンソンと結婚する。

1962 - 1971年:アメリカ合衆国カリフォルニア州のスタンフォード大学経営大学院で教鞭を執る。

1971 - 1977年:リックスカレッジの学長を務める。

1980 - 1985年:教会教育委員長を務める。

1985年:管理ビショップリック第一顧問に召される。

1992年:七十人第一委員会に召される。

1992 - 2005年:教会教育委員長を務める。

1995年:十二使徒定員会に召される。

2007年:大管長会第二顧問に召される。

2008年:大管長会第一顧問に召される。

2018年:大管長会第二顧問に召される。

わたしは、ある目的があって、特にこの出来事について話しています。ここから学べる教訓は、だれの目にも明らかです。これは、教会の大管長会の一員からの要請です。聖任された使徒、つまり、この地上で人が保持できるすべての神権の鍵を持つ人物です。自身が所属するアメリカ合衆国ユタ州バウンティフルのワードのビショップを含む、教会のほかのあらゆるワードやステークの神権指導者に指示を出すことができ、実際にそうしている人物です。教会の管理役員がよく依頼されるように、自分の持つ鍵を、あらゆる地元の指導者に対して使うことができる人物です。しかし、そのなすことすべての特徴となっている純粋な心を示し、だれもがそう簡単にできるものではない逆説的な生き方をしている人物が、ヘンリー・B・アイリング管長なのです。世界の至る所にいる一般の会員のために定められた規定に綿密に従い、主の油注がれた者にへりくだって許可を求め、地元の指導者に進んで相談してその決定に従うのです。

その信仰の根源

アイリング管長のこの豊かな霊性と率直な純粋さは、幼いころに育まれました。1933年5月31日にヘンリー・アイリングとミルドレッド・ベニオン・アイリングの間に生まれたハルは、教会員がほとんどいない地域で少年時代を過ごしました。アイリング家族は安息日の集会を自宅で開いていました。父親のヘンリーは、プリンストン大学で教える、世界的に有名な教授です。支部の初等協会は自分と弟のハーデンで構成され、兄のテッドが若い男性のプログラムを一人でこなしていたと、アイリング管長は後に冗談めかして言ったものです。母親のミルドレッドはピアニスト兼音楽指揮者でした。しかし、彼女がどのようにその両方を果たしていたのか、ハルは覚えていません。

大きなワードで礼拝することはできませんでしたが、それはハルが証を得る妨げにはなりません。当時のことをこう言っています。「そのとき、教会は建物ではないこと、ましてや人数の多さでもないことを学びました。わたしは天の御父を身近に感じ、末日聖徒イエス・キリスト教会が主の教会であることを知ったのです。自分の小さな支部が我が家のダイニングルームで集会を開いていることは、気になりませんでした。」

ハルが13歳のとき、父親はユタ大学の要職に就きました。青少年のヘンリーは早朝セミナーに出席し、通っていた高校のバスケットボールチームでプレーを幾らか楽しみました。しかし、本人が認めているように、個人的に親しい友達を作ることは決してありませんでした。

ある日、自分がみじめに思えてきたときに、人生を変えることになった、ある気持ちが湧いてきたのです。それは神からの警告だと思いました。「いつかあなたがほんとうは何者であるか分かるとき

に、自分の時間をもっと有効に使わな



かったことを後悔するでしょう。」その促しに従って、10代のときにモルモン書を数回読みました。また、デビッド・O・マッケイ大管長の著書 *Gospel Ideals* (『福音の理想』) も指針になったと感じました。この本から、特に女性との正しい付き合い方を教わり、愛する妻キャスリーンに生涯示すことになった献身的な愛について学んだのです。

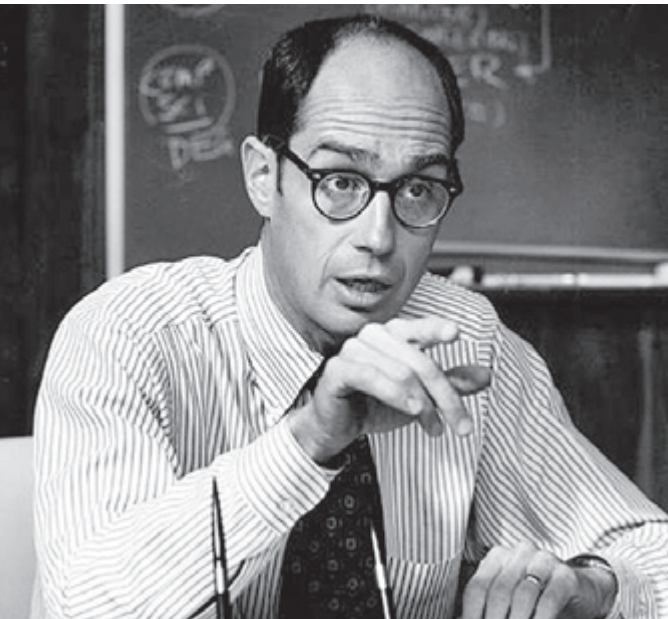
かなえられた夢

幼い子供のころから、ハルの最も大きな夢は、結婚して家庭を築くことでした。将来の自分の子供たちのことをよく考えるあまり、まとめて



左: アイリング管長はスタンフォード大学経営大学院で教鞭を執った後、リックスカレッジ (現ブリガム・ヤング大学アイダホ校) の学長になるよう要請されました。

上: アイリング管長とキャシー夫人は4男2女に恵まれました。



「赤毛ちゃんたち」というあだ名まで付けていました。母親と同じ赤毛の子たちが生まれると思ったのです。

その夢は、ボストン地方部会長会の顧問を務めていたときに、ついに実現することになります。この教会の召しをハルが受けていたのは、ユタ大学で学部課程を終えてハーバード大学の大学院で研究していたときのことで、博士課程の学生であった1960年の夏、ハルは、アメリ



カ合衆国ニューハンプシャー州南西部のシングルアダルトのディボーションナルに、地方部会長会を代表して出席しました。開催場所は、地元で有名な大自然の中の屋外円形競技場「カテドラル・オブ・ザ・パインズ」です。このイベントで、ハルは、紅白のドレスを着た若い女性を見つけ、彼女がかもし出す純粋な善良さに心ひかれてこう思いました。「今まで見た中で最高の人だ。もしこれからの生涯ずっと彼女と一緒にいられたら、自分になりたいと思うどんな良い人物にでもなれる。」

この若い女性は、アメリカ合衆国カリフォルニア州バロアルトから来たキャスリーン・ジョンソンでした。彼女は、その年の夏をニューイングランドで過ごすつもりはありませんでしたが、友達がせがむので一緒にハーバードの夏期講習に出席していたのです。その野外で開かれたディボーションナルの後、ハルは都合をつけて、ある日曜日に教会でキャシーと会い、彼女がテニスが好きだということを知って喜びました。ハルは大学の友達と週に何度かテニスをしていましたし、生まれつき運動神経には恵まれていました。ですから、一緒にテニスというのは理想的な初めてのデートであり、好印象を与える方法だと



思ったのです。しかし、キャスリーンは、自分が以前に高校のテニス部の主将であったことをハルに言っていませんでした。「こてんぱんにやられましたよ。」ハルはいまだにその試合のことをこぼします。これはハルの将来の妻が初めて示した、謙遜でありながら、夫をも謙遜にさせるというすばらしい模範でした。

新しい道

結婚後、ハルはとうとう、スタンフォード大学ビジネススクールの教授陣の一員となりました。1970年12月、ハルがパロアルトの学生ワードのビショップを解任になる数か月前のことです。ある晩遅く、キャシーが突拍子もない質問をしてきました。ハルが過酷な一日の仕事を終えてベッドにもぐり込むと、彼女はハルの顔をのぞき込むようにしてこう尋ねたのです。「あなたは仕事でなすべきことをしていると思っているの？」

その質問に彼は驚きました。自分たちの生活は順風満帆だと思っていたのです。将来には明るい見通しがありました。アイリング家の夢のマイホームの配置図まで、日記に描いたばかりだったのです。「十分な広さがあって、惜しげもなく作業したりカヤックを置いたりできる部屋」

1995年に使徒に召されて以来(上)、アイリング管長は顧問として、教会の3人の大管長、すなわち、ゴードン・B・ヒンクレー大管長(右)、トーマス・S・モンソン大管長、現在のラッセル・M・ネルソン大管長に仕えています。

右: ユタ州ソルトレーク・シティで行われた2012年度「開拓者の日」パレードで特別ゲストとして手を振るアイリング管長。



「台所のテーブルにはコンセントを5か所以上付ける」「書斎に使える物置兼更衣室」など、詳しい説明まで書いていました。

「どういう意味だい？」ハルは妻に尋ねました。

すると、「ニール・マックスウェルのところで研究することはできないの？」と言うのです。マックスウェルは教会の新しい教育委員長です。この質問に、ハルは実にあざんとしました。ハルはニール・A・マックスウェルに一度しか会ったことがありませんし、ハルが知るかぎり、キャスリーンは彼に一度も会ったことがありません。

そのような転職が自分の性に合わない理由を説明しようとしたのですが、彼女は祈ってほしいと言ってきません。ハルはすぐにそうしました。ベッドの横にひざまずいて、短い祈りをささげたのです。何の答えもなかったため、これで片がついたと思い、ハルはすぐに眠ってしまいました。

ところが翌朝、ハルには、二つのはっきりとした霊的な気持ちが浮かんだのです。それはハルの仕事の方向性と人生を永遠に変えるものでした。ハルはその二つを日記に書いています。第一は、「あなたに示される機会を、自分の人間的な判断で反故(はご)にしてはならない。心を開いてそのすべてについて祈りなさい。」第二は、「教会

で割り当てられた務めと、仕事上の務めを、できるかぎり果たしなさい。それは備えです。」

最初に浮かんだ気持ちは叱責のようなもので、ハルはそれ以来ずっとそれに従っています。祈ることなく、仕事の話をして3つ断った後でもあり、心の中にこんな言葉が浮かびました。「あなたは二度とその過ちを犯してはならない。どの仕事に就いたらよいか、あなたには分からないのだから。」

この霊的な導きがまだ生々しく心に残っている間に、ハルは備えをしました。すると、3週間もしないうちに、マックスウェル教育委員長から電話があり、ソルトレーク・シティーで会って話したいのでスケジュールを空けてほしいと言われたのです。マックスウェル兄弟は単刀直入に話しました。



「リックスカレッジの学長になってほしいのです。」それについては祈らなければならないと思う、とハルは答えました。祈ると、短い答えがありました。「それはわたしの学校です。」その後どうなったかは、皆さんが御存じのとおりです。それ以後、彼の教会での奉仕は、目覚ましいだけでなく模範的なものでした。教育委員長代理となり、次に教育委員長を2度務めたのです。その後、管理ビショップリック、七十人定員会、十二使徒定員会に召され、教会の3人の大管長の顧問を務めました。

しかし、ハルがしみじみと思うのは、教会の召しに重要さの違いはないということです。「絶え間ない人生の圧力によって、救い主への奉仕の召しを後回しにするよう誘惑されます」とアイリング管長は教えています。「重要ではないと

思える召しもあるかもしれません。しかし、執事定員会の教師の召しを受けたとき、わたしの生活とわたしの家族はともに祝福されました。わたしは執事たちの救い主への愛と、彼らに対する救い主の愛を感じました。」²

最後にもう一つ、逆説的な話をします。わたしは、友人ヘンリー・B・アイリングほど争い無縁で、暴力に強い嫌悪感を抱く人を、まず知りません。しかし、彼はユタ大学の予備役将校訓練団を最優秀士官候補生として卒業し、アメリカ合衆国空軍での従軍で華々しい働きをしたのです。人は従軍せざるを得ないとしたら—わたしたちは確かに、天上の会議で始まった戦争の真ただ中にいるのですが—何よりも、戦争について考えることすら嫌う人の指揮下で戦いたい

と思うのではないのでしょうか。しかし、(霊的な)戦いに行くのであれば、指揮官にはしっかりと頭を働かせて考えてほしいと嘆願するでしょう。啓示された教義に逆行するあらゆる策略の選択肢を想定して、決断を下す際には必ず聖霊に確認を求めてくださいとも嘆願するのではないのでしょうか。ヘンリー・B・アイリングの生き方は、時に逆説的に見えるのですが、汚れた



ものや不敬なものに対する戦いの中で神聖なものをそのように固く守る姿勢に、彼の生き方の究極的な純粋さが表れているのかわかりません。もしも彼とともに飛行機や戦艦に乗り、たこつぼ〔訳注：小さな塹壕〕に入って奉仕することがあるとすれば、わたしはそれを光栄に思うことでしょう。■

この記事を書くに当たって、アイリング管長の伝記 *Will Lead You Along: The Life of Henry B. Eyring*, (ロバート・J・イートン、ヘンリー・J・アイリング共著) が非常に役に立ちました。アイリング管長自身が見聞きしたことや経歴の幾つかは、ここから取っています。

注

1. Personal correspondence, Apr. 25, 2018
2. ヘンリー・B・アイリング「わたしの孫たちへ」『リアホナ』2013年11月号, 69



中央幹部七十人
J・デビン・
コーニッシュ長老

真実の教会

「聖徒たちを整えるため」

現在、新しい全4巻の教会歴史物語、『聖徒たち——末日におけるイエス・キリスト教会の物語』の第1巻の数章を読むことができます。当時の人々の経験に照らして語られる末日聖徒イエス・キリスト教会の歴史が、わたしたちの信仰を育み、希望を新たにすることを目には素晴らしいことです。そのような歴史書を世に出し、世界中で、また教会の中で、理解と称賛を得られることを光栄に思います。

教会の歴史書を読んで受ける印象は、読み手がその歴史書から何を見いだそうと期待しているかに大きく左右されます。この教会について、このような主御自身の言葉があります。「[[これは] 全地の面に [ある] 唯一まことの生ける教会 [である。]]」(教義と聖約1:30) まことの教会の歴史書には、誤りのない指導者たちが一連の啓示による指示をことごとく実行に移し、教会が広く歓迎され、受け入れられるような完全な団体へと発展する様子が描かれているはずだと思っただけです。しかし、聖文の記述も歴史書の内容も、そうではありませんでした。なぜなら、教会を一つの組織として完全なものとするのは、主の第一の目的ではなかったからです。

教会の目的とは何でしょうか。

聖文や教義、末日の使徒や預言者の教えのどこにも、主の目的が、教会を完全なものとし、教会を救うことだとは教えていません。教会の目的は、「聖徒たちをととのえて……わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致……

に到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至る」ことです(エペソ4:12-13)。主の第一の目的は、聖徒たちを整えることです。この教会は、その目的を支持する役目を果たしています。

したがって、教会の歴史に期待することによっては、そこから見いだすものに感銘を受けるでしょう。すなわち、回復の過程により、主のまことの教会が地上に確立されただけでなく、その経験を通して指導者や会員が成功や過ちから学び、完成に向かって成長できたということを期待する必要があります。彼らの経験を通して、神とキリストを信じるわたしたちの信仰が増し、神が導いておられるこの過程に携わるにより、自分自身も変わり、祝福を受けられることを理解できます。つまり、この教会の歴史は、わたしたちもやがて「キリストによって完全にな [れる]」という希望を与えてくれるのです(モロナイ10:32)。

この教会がまことの教会であることにはどのような意味があるのでしょうか。

過去の指導者や会員が、時折不完全な取り組みをしつつもキリストの教会を確立できたとしたら、また時折過ちを犯したとしたら、この教会がまことの教会であると言うことにはどのような意味があるのでしょうか。それは、回復された神権の権能、救いの儀式、啓示により明らかにされた教義、聖文、そして一致した定員会である十二使徒定員会と大管長会に、わたしたちが全幅の信頼を置くことができることを意味しています。また、救い主御自身がこの教会を導いておられ、これ

らのことが真実かどうかを真心から求めるすべての人に、聖霊が証されることを意味しています。儀式に伴う聖約を守ろうと努力し、悔い改め続けることにより、皆さんやわたしのような不完全でありながら誠実な人は、イエス・キリストの贖罪を通して、神とキリストと家族とともに永遠に日の栄えの栄光のうちに暮らすことができるということを意味しています。

末日聖徒イエス・キリスト教会のこの物語のような歴史書を紹介できることを光榮に思います。1巻ずつ公開されますので、残りのシリーズも引き続き御覧ください。この書物は、入手可能な記録と史実に忠実に基づいています。この歴史書を誠実に読むことにより、天の御父の愛とキリストの贖罪の力に対する信仰は増し、預言者ジョセフ・スミスが神から導きを受けていたという証と回復に対する証は強まり、わたしたちも、御二方が忠実な人々に約束されたすべての祝福にあずかれるという希望を抱けると確信しています。■

コーニッシュ長老は、この記事の作成時、教会歴史部管理ディレクター補佐として奉仕していました。

次の記事に、『聖徒たち』の第7章が掲載されています。第1巻の全文は、14か国語に訳されており、store.lds.orgを通して印刷物として入手できます〔訳注 ― 日本語版ウェブサイトからの注文可能時期は未定〕。また、「福音ライブラリー」アプリおよびオンライン (saints.lds.org) で、無料で閲覧できます。また、一般向けの電子ブックやオーディオブックなどのプラットフォームで、英語やスペイン語、ポルトガル語に訳されたものを入手することもできます。

教会歴史上の、霊を鼓舞する出来事について、詳しくは、2018年9月9日に開催される世界規模のディボーション、十二使徒定員会クエンティン・L・クック長老とのFace to Faceにご参加ください。詳細については、YSAface2face.lds.org にアクセスしてください。事前に質問を送ることもできます。







第 7 章

ともに仕える僕

これは、『聖徒たち——末日におけるイエス・キリスト教会の物語』という、4巻にわたる新しい教会歴史物語の第7章です。この物語は14の言語で、印刷物および「福音ライブラリー」アプリの「Church History (教会歴史)」の項や、saints.lds.org/jpn で読むことができます。前の章は、これまでの号に掲載され、「福音ライブラリー」アプリとsaints.lds.orgにて、47の言語で読むことができます。

18 29年の春は、5月半ばになっても肌寒い日が続きました。ハーモニー周辺の農夫たちが、天候が良くなるまで春の植え付けを遅らせて家にこもっている間、ジョセフとオリバーは記録をできるかぎり翻訳しようと努めていました。¹

二人は、エルサレムでイエスが亡くなったときにニーファイ人とレーマン人に起きた出来事を語る箇所に差しかかりました。甚大な人的被害を与え、地形をも変えてしまうほどの巨大地震とすさまじい嵐が起こったと書かれています。地に沈んだ町もあれば、火に焼かれた町もあり、稲妻が数時間にわたって空の果てから果てへと走りました。太陽は姿を消し、生き残った人々は深い暗闇に覆われます。人々は亡くなった人々のために3日間、泣き叫びました。²

最後には、イエス・キリストの声が闇を貫きます。その声はこう問いかけました。「わたしがあなたがたを癒すことができるように、今あなたがたはわたしに立ち返り、自分の罪を悔い改め、心を改めようとしているか。」³ イエスは闇を払い、人々は悔い改めました。間もなく、多くの人々がバウンティフルと呼ばれる地にある神殿に集まります。集まった人々は、地に起こった驚くべき変化について話し合っていました。⁴

人々がこうして語り合っていると、神の御子が天から降って来られました。そして、こう言われたのです。「わたしはイエス・キリストであり、世に来ると預言者たちが証した者である。」⁵ 主はしばらくこの民のもとにとどまり、御自身の福音を教え、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマを受けるよう民に命じられました。

「わたしを信じてバプテスマを受ける者は、だれでも救われる。神の王国を受け継ぐのはこれらの者である」と宣言されたのです。⁶ 天に昇られる前、主は御自身を信じる

者にバプテスマを施す権能を義にかなった人々にお与えになりました。⁷

翻訳しながら、ジョセフとオリバーはこれらの教えに圧倒されます。兄のアルビンと同様、ジョセフはバプテスマを受けたことがなく、この儀式と、それを施すために必要な権能について、さらに知りたいと思いました。⁸

1829年5月15日の雨上がり、ジョセフとオリバーはサスケハナ川近くの森へと入って行きました。ひざまずき、バプテスマと罪の赦しについて神に尋ねたのです。祈っていると、贖い主の声が平安を告げ、光の雲の中に天使が現れました。この天使は、自分はバプテスマのヨハネであると告げ、二人の頭に手を置きました。神の愛に包まれ、二人の心は喜びに満たされます。

ヨハネは宣言しました。「わたしと同じ僕であるあなたがたに、メシヤの御名によって、わたしはアロンの神権を授ける。これは天使の働きの鍵と、悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持つ。」⁹

天使の声は穏やかでありながら、ジョセフとオリバーを心の底まで貫くようでした。¹⁰ 天使は、アロン神権にはバプテスマを施す権能があることを説明し、自分が去った後、互いにバプテスマを施すよう二人に命じました。また、後にもう一つの神権の力を受けるであろうことも告げます。その神権は、二人が互いに、また二人がバプテスマを施した人々に聖霊の賜物を授ける権能をもたらすものです。

バプテスマのヨハネが去った後、ジョセフとオリバーは川まで歩いて行き、水の中に入っていました。最初にジョセフがオリバーにバプテスマを施し、オリバーは水から引き上げられるやいなや、間もなく起こることについて預言し始めます。次に、オリバーがジョセフにバプテスマを施しました。ジョセフは川から上がると、主が確立されると約束された、キリストの教会の起こりについて預言しました。¹¹

バプテスマのヨハネの指示に従い、二人は森に戻ると、互いをアロン神権に聖任します。ジョセフとオリバーは古代の記録の翻訳中だけでなく、聖書を研究する中で、神の御名

によって行動する権能について記してあるのを度々目にしてきました。今やこの権能を、彼ら自身が持つようになったのです。

バプテスマを受けてからというもの、ジョセフとオリバーは、それまで難解で不明瞭に思えた聖句を突如として理解できるようになりました。真理と理解が二人の心に押し寄せてきたのです。¹²

ニューヨークでは、オリバーの友人であるデビッド・ホイットマーがジョセフの取り組む業について知りたがっていました。デビッドはマンチェスターから約50キロ離れたフェイエットに住んでいましたが、オリバーがスミス家に下宿しながら学校で教えていたころ、オリバーと友人になったのです。彼らは金版についてよく語り合い、オリバーはハーモニーに移ったら、翻訳について書き送ることをデビッドに約束していました。

程なくして、手紙が届くようになります。オリバーは、神からの啓示によらなければだれも知りえない彼の人生についての詳細を、ジョセフが知っていたことについて書きました。また、ジョセフに対する主の言葉と記録の翻訳についても書き記しました。ある手紙では、翻訳した文章を数行書き出し、それが紛れもない真実であることを証しています。

オリバーは別の手紙で、デビッドが自分の馬や馬車を率いてハーモニーにやって来て、ジョセフとエマ、オリバーがフェイエットのホイットマー家に移る手助けをするのは神の御心だと伝えました。ジョセフはそこで翻訳を完成させることができます。¹³ ハーモニーの住民は、スミス家を歓迎しなくなってきていました。住民の中にはジョセフとオリバーの身を脅かそうとする者もあり、エマの実家の影響力がなければ深手を負うところでした。¹⁴

デビッドはオリバーから来た手紙を両親やきょうだいに見せており、彼らもジョセフとエマ、オリバーを家へ迎え入れることに賛成でした。ホイットマー家の人々はその地域にやってきたドイツ語圏の定住者の子孫で、その勤勉さと信心深さで知られていました。彼らの農場は、翻訳の業を妨げ、金版

ジョセフとオリバーは、
神の名において行動する
権能について、
度々読んでいました。
今や、彼ら自身がその権能を
持っているのです。



を盗もうとする人々からは十分離れた距離にあり、なおかつスミス家を無理なく訪問できるほどの場所でもありました。¹⁵

デビッドはすぐにでもハーモニーに行きたい気持ちでしたが、丸二日分の重労働を終えてからでなければ行ってはならないと、父親から釘を刺されていました。植え付けの時期でしたから、デビッドは8ヘクタールもの土地を耕し、麦の生育を促す石こうをまいて土壌を肥沃にしなければならなかったのです。どうしても今行かなければならないのかどうか、まずは祈りなさいと父は言いました。

父の助言に従って祈ったデビッドは、家の仕事を終えてか

らハーモニーに行くよう御霊が告げるのを感じました。

翌朝、デビッドが畑に歩いて行くと、前の晩には耕されていない土地に、黒々とした畝が何列もできているのが見えました。畑のほかの場所も調べてみると、2.5ヘクタールほどが一夜にして耕されており、最後の畝を耕せばよいだけになっていることが分かったのです。デビッドの仕事はほとんど終わっていました。

それを知ってひどく驚いたデビッドの父は、こう言います。「これは大きな力が働いているに違いない。畑に石こうをまいたらすぐにペンシルベニアに出かけるといい。」

デビッドは懸命に働いて残りの畑を耕し、植え付けた苗がよく育つように土をやりました。畑仕事が終わると幌馬車を屈強な馬に付け、予定よりも早くハーモニーへと向けて出発したのです。¹⁶

ジョセフとエマ、そしてオリバーがいざフェイエットにやって来ると、デビッドの母親は手いっぱいになってしまいました。メアリー・ホイットマーと夫のピーター・ホイットマーには、すでに15歳から30歳の子供が8人おり、家を出た何人かの子供たちも近隣に住んでいました。子供たちの世話だけでも一日がかりだと

いうのに、3人の客人を抱え、仕事は増す一方です。ジョセフの召しに対して信仰をもっていたメアリーは、愚痴こそほさなかったものの、次第に心身をすり減らしていきました。¹⁷

その年のフェイエットの夏は、うだるような暑さでした。メアリーが洗濯や食事の準備をする間、ジョセフは2階の部屋で翻訳を口述していました。通常はオリバーが書き取っていましたが、時にはエマやホイットマー家の人を書き取ることもありました。¹⁸ 時々、ジョセフとオリバーは神経を使う翻訳に疲れると、外に出て近くの池まで歩いて行き、水面に石を投げては何度も跳ねさせるのでした。

メアリーは息つく暇もなく、増えた仕事と課せられた負担は耐え難いものでした。

そんなある日のこと、メアリーが外に出て、牛の乳搾りをする小屋の傍らにいます。肩からナップサックを下げた白髪混じりの男性の姿が目にとまりました。突然の現れに恐れを抱いたものの、近づいて来たその男性が穏やかな声で話しかけると、メアリーは胸を撫で下ろします。

「わたしはモロナイです。」男性はそう名乗ると、こう言いました。「こなすべき仕事が増えて、あなたは非常に疲れてしまいましたね。」そして、ナップサックを肩から下ろすと、メアリーの目の前でそれを開き始めました。¹⁹

男性は話を続けます。「あなたは非常に忠実に、熱心に働いてこられました。ですから、あなたが証を得て信仰を強められるものをお見せしましょう。」²⁰

ナップサックを開くと、モロナイは金版を取り出しました。それをメアリーの目の前に持って来ると、刻まれた文字が見えるようにページをめくっていきました。最後のページまでめくり終えると、仕事は増えたけれども、もうしばらくの間忍耐強くあり、忠実にその仕事をこなすようメアリーに勧めました。そうすれば祝福を受けると約束したのです。²¹

年配の男性はその直後に姿を消し、メアリーは一人残されました。メアリーは相変わらず忙しく働かなければなりませんでした。悩まされることはもうなくなりました。²²

ホイットマー家の農場で、ジョセフの翻訳は早いペースで進んでいきましたが、作業がはかどらない日もありました。ほかのことに気を取られ、霊的な事柄に集中できなかったのです。²³ ホイットマー家の小さな家屋は常に慌ただしく、気



を散らすことばかりでした。そこに移ったということは、ジョセフとエマがハーモニーで享受していた家族水入らずの時間を諦めることを意味していました。

ある朝のこと、翻訳に取りかかろうとしていたジョセフは、エマに対して腹を立てました。その後、二階で作業をしていたオリバーとデビッドの所へ行きますが、一言も翻訳するこ

とができないのです。

ジョセフは部屋から外に出ると、果樹園の方に歩いて行きました。1時間ほど外にいて祈り、帰ってくると、エマに謝って赦しを乞いました。それから、普段のように翻訳の作業に戻ったのです。²⁴

今やジョセフはニーファイの小版として知られる記録の最後の部分を翻訳していました。実際には、書物の初めに用いられる部分です。この小版では、かつてマーティンと組んで翻訳したものの失われてしまった記録に刻まれていたのと類似した物語が展開し、ニーファイという名の若者の話が語られます。ニーファイの家族は神によって、エルサレムから新たな約束の地へと導かれたのです。そこでは記録を記し始めた経緯と、ニーファイ人とレーマン人との初期のあつれきが明らかにされていました。さらに重要なのは、版がイエス・キリストとその贖罪について力強く証していたことです。

ジョセフは最後の版の記述を翻訳したときに、その記録の目的が説明され、モルモン書という書名が与えられていることに気づきます。それは、この書物を編さんした預言者であり歴史家でもあった古代の人物の名を冠したものでした。²⁵

モルモン書の翻訳を始めてからというもの、ジョセフは神の業において自分がこれから果たすこととなる役割について多くを学びました。その書物には、自分が聖書から学んだ基本的な教えだけでなく、イエス・キリストとその福音に関する新たな真理と洞察も記されていることが分かりました。また、「ヨセフ」という名の選ばれた聖見者について預言した、末日についての聖句も明らかになりました。その聖見者は主の言葉をもたらし、失われた知識と聖約を回復するのです。²⁶

この記録の中で、学者には読めない封じられた書物に関するイザヤの預言について、ニーファイが詳しく綴っていることをジョセフは知りました。この預言を読んだジョセフは、マーティン・ハリスがアンソン教授と面会したときのことを思い起こしました。この記録は、末の日にこの書物を地からもたらし、キリストの教会を確立することのおおきになる方は、神以外にはおられないと断言していたのです。²⁷

主はこの版を3人の証人に見せられるという約束を、モルモン書と示現において与えておられました。翻訳が終わると、ジョセフと友人たちは、この約束について考えるようになります。そのころジョセフの両親とマーティン・ハリスはホイットマー家の農場を訪れており、ある朝、マーティンとオリバー、そしてデビッドは自分たちをその証人にしてくれるようジョセフに懇願しました。ジョセフが祈ると主はそれに答え、もしも彼らが心の底から主に頼り、真理を証する決意を持つならば、版を見ることができると告げられます。²⁸

ジョセフはマーティンにはっきりと言いました。「あなたは今日、神の前にへりくだらなければなりません。そうすれば、罪の赦しを受けられることもあるでしょう。」²⁹

少ししてから、ジョセフは3人をホイットマー家の近くの森に連れて行きました。彼らはひざまずくと、版を見せてくださるよう代わる代わる祈りました。しかし、何も起こりません。もう一度試みましたが、やはり何も起こりません。ついにマーティンが立ち上がると、天が閉じているのは自分のせいだと言い、その場を立ち去りました。

ジョセフとオリバー、デビッドが再び祈ると、彼らの上に、まばゆく輝く光とともに天使が現れます。³⁰ 版を手にしたその天使は、版を一枚一枚めくり、そこに刻まれている文字を見せてくれました。天使の傍らにはテーブルが現れ、その上にはモルモン書に記された古代の品物が置かれています。翻訳器と胸当て、剣、ニーファイの家族をエルサレムから約束の地へと導いた奇跡の羅針盤です。

すると、次のように宣言される神の声が聞こえました。「この版は神の力によって現され、神の力によって翻訳された。あなたがたが目にしたものの翻訳は正確である。わたしはあなたがたに命じる。今見聞きしたことを証しなさい。」³¹

天使が去った後、ジョセフが森の奥に歩いて行くと、マーティンがひざまずいて祈っているのが見えました。マーティンは、まだ主から証は受けていないが、金版を見たいと今でも思っていると言い、一緒に祈ってくれるようジョセフに頼みます。ジョセフはマーティンの横にひざまずきました。すると、祈りの言葉を言い終わらないうちに同じ天使が現れ、版とそのほかの古代の品物を見せてくれたのです。

モロナイは金版を
メアリー・ホイットマーの
前で持ち、記された内容が
見えるようにページを
めくって見せました。

「すばらしい、すばらしい。」マーティンは大声で言いました。「この目で見た、この目で見たんだ!」³²

ジョセフとこの3人の証人は、その日の午後遅く、ホイットマー家に戻りました。メアリー・ホイットマーがジョセフの両親と歓談していると、ジョセフが部屋に駆け込んできます。「父さん、母さん。わたしがどんなにうれしいか分かりますか!」

ジョセフは母親の傍らに座り込み、こう続けます。「主がああ版を、わたしのほかに3人の人にお見せになったのです。わたしが人々を欺こうとしているのではないことを、彼らは身をもって知ったのです。」

ジョセフは、大きな重荷を取り除かれたかのような気分でした。「これからは彼らもその一部を負うことになるのです。」ジョセフは言いました。「もうわたしはこの世でまったくの一人きりではないのです。」

次にマーティンが部屋に入ってきました。喜びがあふれんばかりです。「天から降ってきた天使を見たんだ!」と大声で言います。「神に祝福あれと、心から思います。自らを低くして、わたしのような者をも、御業の偉大さを証する者としてくださったのですから!」³³

数日後、ホイットマー家の人々は、マンチェスターの農場でスミス家に合流しました。主が御自分の言葉を「適切である

と見なされる人数の証人の口を通して」確かなものとされることを知っていたので、ジョセフは父親、ハイラムにサミュエル、またデビッド・ホイットマーの4人の兄弟、すなわち、クリスチャン、ジェイコブ、ピーター・ジュニア、ジョンと、義理の兄弟であるハイラム・ページとともに森に入って行きました。³⁴

この8人は、スミス家の人々が個人の祈りをささげるためによく訪れる場所に集まりました。主の許可を得ると、ジョセフは版の覆いを取り、それを彼らに見せました。3人の証人のように天使を見たわけではありませんが、ジョセフは記録を彼らの手に持たせ、版をめくり、そこに刻まれている古代の文字を見ることができるようにしたのです。版を手に取った彼らは、天使と古代の記録に関するジョセフの証が真実であるという信仰を確固としたものになりました。³⁵

今や翻訳が終わり、自らの奇跡的な証を支持する証人も得たのですから、ジョセフにとって、版はもう必要ありませんでした。この8人の男性が森を出て帰宅した後のこと、天使が現れます。ジョセフは神聖な記録を返し、その天使の手に委ねたのでした。³⁶ ■

引用元の文献の全リストは、saints.lds.org [英語] でご覧いただけます。

「テーマ」という言葉が注釈にある場合は、追加情報がオンライン (saints.lds.org) に掲載されています。

ジョセフは記録を
8人の証人の手に持たせ、
版をめくり、
そこに刻まれている
古代の文字を見ることが
できるようにしたのです。

注

1. Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:14; Staker, “Where Was the Aaronic Priesthood Restored?,” 158, note 49
- 2.3 ニーファイ8章: Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:15 – 16; see also Kowallis, “In the Thirty and Fourth Year,” 136 – 90
- 3.3 ニーファイ9:13
- 4.3 ニーファイ10:9, 11:1
- 5.3 ニーファイ11:10, 15:21 – 24, ヨハネ10:16も参照
- 6.3 ニーファイ11:33

- 7.3 ニーファイ11:23 – 33
8. Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:13 – 16
9. 教義と聖約13:1 (Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 17 – 18, in *JSP*, H1:292 – 94 [draft 2]); Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:15; Staker, “Where Was the Aaronic Priesthood Restored?,” 142 – 59 テーマ: アロン神権の回復
10. Oliver Cowdery to William W. Phelps, Sept. 7, 1834, *LDS Messenger and Advocate*, Oct. 1834, 1:15
11. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume

- A-1, 17–18, in *JSP*, H1:292 – 94 (draft 2); “Articles of the Church of Christ,” June 1829, in *JSP*, D1:371
12. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 18, in *JSP*, H1:294 – 96 (draft 2)
13. “Mormonism,” *Kansas City Daily Journal*, June 5, 1881, 1; James H. Hart, “About the Book of Mormon,” *Deseret Evening News*, Mar. 25, 1884, [2]; Joseph F. Smith to John Taylor and Council of the Twelve, Sept. 17, 1878, draft, Joseph F. Smith, Papers, Church History Library; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 21, in *JSP*, H1:306 (draft 2)
14. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 18, in *JSP*, H1:296 (draft 2)



15. "Mormonism," *Kansas City Daily Journal*, June 5, 1881, 1; Dickinson, *New Light on Mormonism*, 250; "The Book of Mormon," *Chicago Tribune*, Dec. 17, 1885, 3; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 21, in *JSP*, H1 : 306 (draft 2)
16. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [8]; Orson Pratt and Joseph F. Smith, Interview with David Whitmer, Sept. 7–8, 1878, [10], in Joseph F. Smith to John Taylor and Council of the Twelve, Sept. 17, 1878, draft, Joseph F. Smith, Papers, Church History Library; Cook, *David Whitmer Interviews*, 26 – 27
17. Orson Pratt and Joseph F. Smith, Interview with David Whitmer, Sept. 7 – 8, 1878, [10], in Joseph F. Smith to John Taylor and Council of the Twelve, Sept. 17, 1878, draft, Joseph F. Smith, Papers, Church History Library
18. James H. Hart, "About the Book of Mormon," *Deseret Evening News*, Mar. 25, 1884, [2]
19. Skousen, "Another Account of Mary Whitmer's Viewing of the Golden Plates," 40; [Andrew Jenson], "Eight Witnesses," *Historical Record*, Oct. 1888, 621
20. Orson Pratt and Joseph F. Smith, Interview with David Whitmer, Sept. 7 – 8, 1878, [10], in Joseph F. Smith to John Taylor and Council of the Twelve, Sept. 17, 1878, draft, Joseph F. Smith, Papers, Church History Library
21. Skousen, "Another Account of Mary Whitmer's Viewing of the Golden Plates," 40; [Andrew Jenson], "Eight Witnesses," *Historical Record*, Oct. 1888, 621
22. [Andrew Jenson], "Eight Witnesses," *Historical Record*, Oct. 1888, 621; Orson Pratt and Joseph F. Smith, Interview with David Whitmer, Sept. 7 – 8, 1878, [10], in Joseph F. Smith to John Taylor and Council of the Twelve, Sept. 17, 1878, draft, Joseph F. Smith, Papers, Church History Library; Stevenson, *Journal*, Dec. 23, 1877
23. Whitmer, *Address to All Believers in Christ*, 30
24. "Letter from Elder W. H. Kelley," *Saints' Herald*, Mar. 1, 1882, 68; see also Bushman, *Rough Stone Rolling*, 77
25. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 34, in *JSP*, H1 : 352 – 54 (draft 2) テーマ：モルモン書の翻訳：金版
- 26.2 ニーフай 3 : 7 – 19 (訳注——「ヨセフ」に該当する英語は「Joseph」)
27. Joseph Smith History, circa Summer 1832, [5], in *JSP*, H1 : 15 : 2 ニーフай 26 : 16 : 27 : 15 – 21
28. 教義と聖約 17 章 (Revelation, June 1829–E, at josephsmithpapers.org) ; 教義と聖約 5 : 11 – 18 (Revelation, Mar. 1829, at josephsmithpapers.org) ; Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 23, in *JSP*, H1 : 314 – 17 (draft 2)
29. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [11]
30. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 24 – 25, in *JSP*, H1 : 316 – 18 (draft 2)
31. "Letter from Elder W.H. Kelley," *Saints' Herald*, Mar. 1, 1882, 68; Joseph Smith History, 1838–56, volume A-1, 24 – 25, in *JSP*, H1 : 316 – 20 (draft 2) ; "Testimony of Three Witnesses," in Book of Mormon, 1830 edition, [589] テーマ：モルモン書の証人
32. Joseph Smith History, 1838 – 56, volume A-1, 25, in *JSP*, H1 : 320 (draft 2)
33. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 8, [11]; book 9, [1]
34. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [1]; 2 ニーフай 27 : 14
35. "Testimony of Eight Witnesses," in Book of Mormon, 1830 edition, [590] テーマ：モルモン書の証人
36. Lucy Mack Smith, History, 1844 – 45, book 9, [2]

わたしの 大会ノート

2018年4月の総大会



神権と神権者

「メルキゼデク神権は、地位や称号ではありません。神の子のための神の業を押し進めるために行使するよう委託された神聖な力です。わたしたちは、神権を持つ男性が『神権』そのものではないことを常に覚えておかなければなりません。『神権と女性』という言い方も適切ではありません。『神権者と女性』とすべきです。」

大管長会第一顧問
ダリン・H・オックス管長「神権の力」
『リアホナ』2018年5月号, 65

より深く学ぶ

ミニスタリング

総大会で、多くの指導者がミニスタリングについて話しました。最近のメッセージを学ぶ際、ミニスタリングの特性を探してみてください。手始めに、以下のお話から探しましょう。

- ヘンリー・B・アイリング「御子の御霊を受けられるように」『リアホナ』2018年5月号, 86 - 89
- ヘンリー・B・アイリング「靈感に基づくミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 61 - 64
- ジェフリー・R・ホランド「『彼らとともにいて、彼らを強める』」『リアホナ』2018年5月号, 101 - 103
- ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング——救い主のよう」『リアホナ』2018年5月号, 104 - 107

預言者は
皆さんと

救い主の

間に立つのでは
ありません。

むしろ、

皆さんの傍らに立ち、

救い主に

通じる道を

指し示してくれるのです。

十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老
「神の預言者」
『リアホナ』2018年5月号, 27

疑問への答え

ほんとうに自分の罪を過去のものにし、赦しを受けられるのでしょうか。

「〔救い主は〕御自分の命を捨て、再び取り戻され〔ました〕。

イエスは、御自分を信じるすべての人のためにこれをなされました。

御自分を信じないすべての人のためにこれをなされました。

御自分の名をあざけり、ののしり、のろう人々のためにさえ、これをなされたのです。……

イエス・キリストのおかげで、わたしたちは死の悲しみから立ち上がり……ます。……

イエス・キリストのおかげで、わたしたちの罪は消されるだけでなく、忘れ去られます。」

十二使徒定員会 ディーター・F・ワークトドルフ長老「『見よ、この人だ』」
『リアホナ』2018年5月号, 108, 109

どんな疑問が大会で聞いたメッセージによって答えられたでしょうか。本誌のFacebookページ、[facebook.com/liahona](https://www.facebook.com/liahona) にあなたの経験を分かち合ってください。

統計報告

103,221人

の宣教師が
現在奉仕しています：

67,049人 専任宣教師
36,172人 教会奉仕宣教師



新しい神殿の

建設が発表されました——
アルゼンチンのサルタ、インドの
バンガロール、ニカラグアのマナ
グア、フィリピンのカガヤン・デ
オロ、アメリカ合衆国ユタ州、ア
メリカ合衆国バージニア州、そし
て、具体的な地名は未定だがロ
シアの都市の一つ。上記の地図
を参照。



どうすればよいでしょうか。

預言者の教えを試す

わたしはネルソン大管長が大会で述べたメッセージに感銘を受けました。神はわたしに語りかけ、何をすべきかわたしに伝えたいと思っておられると大管長は述べました。今日、それを実践しようと思いました。今日、だれかを助けられるように祈りました。昼食後、わたしは車にガソリンを入れる必要がありました。すると、だれかのガソリン代を払う必要があるという思いが心に浮かびました。わたしは少し疑問に思いながら、「どうなるか見てみよう」と考えました。車にガソリンを入れていると、隣に小さなワゴン車が停止し、一人の女性が息子を連れて降りてきました。彼女は財布を取り出し、中をわざわざ調べて

いました。

わたしがガソリンを入れ終わったとき、その女性が恥ずかしげに「すみません」と言うのが聞こえました。振り向くと、彼女は困ったような表情で立っていました。

わたしは、今日だれかのためにガソリン代を払うことになっているのだと彼女に言いました。「それはあなたのことでしょうか。」不意をつかれた彼女は涙ぐみ始めました。「今日、あなたのことを見ておられる方がいるようです」とわたしは言い、彼女の車のところに行ってわたしのクレジットカードを挿入しました。そして、きっとその御方はわたしのことも見てくださっているという心からの確信を胸に、車に乗り込んでその場を離れました。預言者の導きがあることを神に感謝します！

——ジョナサン・ベンソン（「リアホナ」Facebook ページへの投稿）

分かち合いたい経験はありませんか。 liahona.lds.org、または Facebook ページに投稿してください。

以下について
深く考えてください

あともう一日しか生きられないと知っていたら、わたしは何をするでしょうか。

七十人 テーラー・G・ゴドイ長老「あともう一日」
『リアホナ』2018年5月号、34-36 参照

あなたの考えを『リアホナ』Facebook ページに投稿するか、自分の日記に書きましょう。

信仰の力と 家族の ストーリー

先祖が直面した困難について知っている
と、試練に遭ったときにそれを堪え忍ぶ力が強
くなります。

教会機関誌
アダム・C・オルソン

ロザリー・パチーニは子供のころから信仰あふれるストーリーを聞いてきたことで、いつも高祖母のエリザベス・サビエル・テイトと特別なつながりを感じてきました。ボンベイ（訳注—現在のムンバイ。インド西部の都市）からリバプールを経てシオンへ旅したエリザベスが示した主への信頼や、苦痛に満ちた試練を堪え忍んだという逸話は、幼いころからロザリーンの心に深い印象を残しました。

エリザベスのストーリーは、ロザリーンが自分の人生で似たようなチャレンジに直面したとき、同じような信仰を育み、それに頼る備えにもなりました。

家を離れ、家族を失う

エリザベス — 1850年代, インド, ボンベイ

インドの裕福で高貴な家に生まれたエリザベス・ザビエルは、高い教育を受け、不自由のない生活を送っていました。しかし、1850年にウィリアム・テイトというイギリス海軍の連隊教官と結婚したとき、彼女の人生に大きな転機が訪れました。ウィリアムはスコットランドでパーリー・P・ブラット長老からバプテスマを受けていました。

エリザベスの家族は彼女のバプテスマに強く反対しました。家族関係のもつれによる重圧に続いて、長男をコレラで亡くすという悲劇を経験しました。その後、聖徒たちと合流し永遠の家族を持つことを切望したエリザベスは、妊娠8か月であったにもかかわらず、家族の家を整えるためにウィリアムと次男を先にシオンに送り出しました。

赤ん坊が生まれると、エリザベスの家族は夫と信仰を捨てて自分たちのもとに留まるよう彼女に懇願しました。しかし、救い主に従うという彼女の意志は固く、家族と故郷に永遠の別れを告げ、リバプールへ向かう船に乗ったのでした。



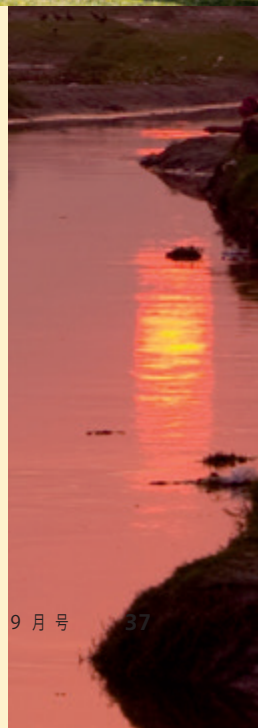
ロザリー — 2003年, アメリカ合衆国, コロラド州

ロザリーはエンタープライズというアメリカ合衆国ユタ州南部の小さな町に住む大家族の末っ子として育ちました。家庭や伝道で過ごした月日の中で、イエス・キリストを信じる信仰の力を何度も目にしてきました。神殿で結婚した後、ロザリー自身も証が強められる旅を始めることとなります。夫が就いた仕事によって実家から次第に遠い場所へと移り住むことになったのです。

コロラド州に引っ越した後、ロザリーは母親ががんと闘い、数年後に亡くなるのを、遠くから見守るしかありませんでした。

「残りの生涯、両親の隣の町に住めるなら喜んで住んだと思います」と彼女は言います。「大人になって遠くに引っ越さなければならなかったのはほんとうに悲しかったです。母親を亡くしたことにより、人生最大の悲しみを経験しました。今でも、母に会いたいと思わない日は一日もありません。

エリザベスも故郷に帰りたいと強く思った日がきっとあったことでしょう。しかし、彼女はイエス・キリストを信じ、自分の生活に主の力が及ぶようにしました。それだけで試練に耐える強さを得られたのです。地上の家族が近くにいるかどうかに関係なく、わたしが天の御父に強さを求めて頼るとき、エリザベスと同じ信仰の力がわたしを助けてくれます。」



死の痛み

エリザベス — 1856年、イギリス、リバプール

インドからイギリスへ向かう長い船旅の途中、エリザベスの幼い娘は重い病気にかかりました。娘は亡くなり、リバプールに葬られました。エリザベスは後に、赤ん坊を亡くした悲しみで胸が張り裂けそうになり、それ以上前を進めるかどうか分からなかったと語っています。悲しみに打ちひしがれ、独りになった彼女は、当時ヨーロッパ伝道部会長として奉仕していた十二使徒定員会のフランクリン・D・リチャーズ長老の励ましを受けて、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンへ船で渡りました。

ロザリー — 2006年、アメリカ合衆国、ニューヨーク州

パチー二家が幼い家族を連れてニューヨークに引っ越して間もないころ、ロザリーは早産をしました。赤ん坊の心拍数が低下する一方だったため、医師たちは手術をして赤ん坊を取り出そうと考えました。しかし、赤ん坊の心拍が正常に戻り、一家はほっと胸をなでおろして帰宅しました。

数日後に病院に診察に訪れると、医師は心拍を見つめることができずでした。数時間後、男の子の赤ん坊が取り出されましたが、死産でした。

「赤ちゃんを亡くし、悲しみに打ちひしがれました」とロザリーは言います。「わたしの腕の中から息子の小さな体を取り上げられたときほど悲しい思いをしたことはありません。」

一家は飛行機でユタへ行き、ロザリーの母親の隣に息子を埋葬しました。それから何週間もの間、ロザリーはそこを離れて自分の人生を続ける気力が持てませんでした。

「先に進めるかどうか分からないというエリザベスの気持ちがいさし分かる気がします」とロザリーは言います。「でも、彼女は前に踏み出しました。そのようなにもならない状況が訪れることはだれしもあると思います。でも、立ち止まるわけにはいきません。今まで以上に救い主に頼って前進していくと、結局は、周りで多くの奇跡が絶えず起きていたことに気づくのです。」



「13世紀のシニョー・ロッキー画

人生の冬

エリザベス — 1856年、アメリカ合衆国、アイオワ州

大海を渡ったエリザベスはまったく新しい文化に取り囲まれました。当時の西部行き鉄道の終点だったアメリカ合衆国アイオワ州へ汽車で移動しました。1856年7月に到着したエリザベスは、ウィリー手車隊に加わりました。

ウィリー手車隊とマーティン手車隊の苦難はよく知られています。これらの隊は出発の時期が遅くなり、ロッキー山脈の山間で例年より早く訪れた冬の雪に立ち往生しました。凍える寒さと食糧の欠如から、200人以上が命を落としたのです。

ブリガム・ヤング大管長が派遣した救助隊の中に、エリザベスの夫ウィリアムがいました。夫と妻は、深い雪と凍てつく風の中で再会を果たしました。

ソルトレーク・シティーで療養した後、ウィリアムとエリザベスはシーダーシティーまで旅を続け、彼らが旅を終えた場所は、ロザリーの人生の旅路のスタート地点からほんの数マイル離れた場所でした。

ロザリー — 2007年、中国、香港

夫が香港で働くことになったことで、数世代前のエリザベスと同様にロザリーは大海を渡り、不慣れた文化の中に身を置きました。

「変化や冒険を好む人もいますが、わたしにとっては限界ぎりぎりの状況でした」とロザリーは言います。

彼女は救い主と、自分のための神の計画によって再び力を得ました。家族とワードの愛ある姉妹たちに支えられて、ロザリーは新しい環境や経験を、愛し大切に思えるようになりました。



ほかの人々もこの道を通って行きました

イエス・キリストに従おうと努めるとき、わたしたちは皆、試練の中を旅します。渡るべき自分自身の平原や海、そして迫り来る厳しい冬があります。しかし、これまでに同じ道を通った人々がいます。わたしたちは救い主を信頼した彼らのストーリーから希望と力を見いだすことができます。

ロザリーンはまだ人生の半ばまでしか到達できていないことを認めながらも、エリザベスのストーリーの全容を見たとき、自分の人生の行く末について考えずにいられませんでした。

「わたしはエリザベスに似た特質を幾つか持っているかもしれませんが、ないかもしれません。しかし、子供たちがわたしの人生を見たときに類似点を見つけてくれればいいなと思います。それは、わたしもエリザベスも終わりまで忠実であり続け、試練によってさらに救い主に似た者となれるように努力したということです。」

先人から強さを得たロザリーンは、今度はそれらのストーリーを自分の子供たちに語り伝えています。

「先祖のストーリーを知っていると、彼らが大変な経験をしたことが分かります」とロザリーンは言います。「その理由や動機も知っています。イエス・キリストを信じる信仰と福音に対する献身という伝統を、今度はわたしが子供たちに伝える番です。」■

ロザリーン・バチーニの先祖のストーリーは、彼女と家族の信仰を強めるうえで助けとなってきました。

聖典の中の家族の物語

研究により、先祖が直面した問題に関するストーリーになじみのある子供は人生で困難に遭ってもそれに堪えやすくなることが分かっています。¹

モルモン書の中で、ヒラマンは記録や口述によって語り継がれてきた家族のストーリーを子供たちに紹介する力についても語っています。彼は息子たちにこう述べています。

「わたしは、エルサレムの地からやって来たわたしたちの最初の先祖の名を、あなたたちに付けた。わたしがこうしたのは、あなたたちが自分の名を思うときに先祖を思い起こせるように、そして先祖を思い起こすときに先祖の行いを思い起こせるように、そして先祖の行いを思い起こすときに、先祖の行いが善かったことがどのように言い伝えられ、書き記されているか分かるようにするためである。

わが子らよ、あなたたちは先祖について言い伝えられ、書き記されてきたように、自分たちについても言い伝えられ、書き記されるように善いことをしてもらいたい。」(ヒラマン5:6-7)

注

1. See Robyn Fivush, "Collective Stories in Families Teach Us About Ourselves," *Psychology Today*, Feb. 2, 2017, psychologytoday.com/blog/the-stories-our-lives/201702.



自分が思い描いていた人生を捨てる

6歳か7歳のころ、わたしは海洋学者になりたいと思っていました。わたしは目標を見失うことなく一生懸命に努力し、良い大学に入りました。動物学の講義を複数受講し、楽しく学びました。しかし、研究が深まってくると、わたしは人体、とりわけ細胞の不思議に魅了され、病理学者になろうと決めました。

間もなくして将来夫となる男性と出会い、結婚することにしました。家族を持つことが常にわたしの人生設計の中にありましたが、優れた医師と優れた母親になれると思いながらも、両方を同時に実現することはできないと感じました。しかし、主の救いの計画に家族は不可欠であるため、わたしはまず母親になろうと決めました。子供たちが学校に入ったら、自分も大学に戻って勉強しようと考えたのです。

いちばん下の子供が幼稚園に入ったころ、わたしはオースティンにあるテキサス大学の栄養学の博士課程で学ぶための手続きを始めました。願書を提出する直前、予期せず7人目の子供を妊娠していることを知りました。わたしはすでに40代で、これから生まれる子が入学するときには50歳近くになっています。

「広範囲の勉強が必要な新しい仕事を始めるには遅すぎる」とわたしは思いました。

そう考えた瞬間、わたしの仕事の夢が粉々に散っていきました。絶望を抱



優れた医師と
優れた母親になれる
思いながらも、両方を同時に
実現することはできないと
感じました。

き始めたわたしの思いと心に、ある聖句が思い浮かびました。「人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。」(ヨハネ 15:13) この聖句はだれかがほかの人のために命を捨てることを意味するといつも考えていましたが、今ではそれ以上の意味を含んでいます。

わたしが示せる最も大いなる愛は、自分のために立てていた人生計画を

捨てる、自分の時間とエネルギーを子育てに注ぐことでした。主がわたしに望んでおられるのはこれだと思いました。医師として多くの人を助けられたかもしれませんが、自分の子供たちの人生に永遠にわたる最も大きな影響を及ぼせることも知っています。■

ジャネット・コックス
(アメリカ合衆国、テキサス州)



時差ぼけと知恵の言葉

わたしは年に数回、仕事のトレーニングを受けるために、台湾からアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコまで出張することがあります。そこまで移動する際に問題になるのが、15時間の時差です。時差ぼけで昼間は眠くなり、夜は眠れません。

トレーニングに参加するため、世界中から同僚が集まります。彼らは、眠らないようにコーヒーを飲み、眠るために赤ワインを飲むことで時差ぼけに対処していました。

中にはこういった飲み物を勧めてくる人もいましたが、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であり、ワインもコーヒーも飲まないと主に約束していることを丁寧に説明しました。そんな戒めを守っていたら生活がつかなくなるだけだとからかう人もいました。時にはリーハイの夢に出てくる、大きく広々とした建物にいる人々にあざけ

り笑われているような気分になることもありましたが(1ニーファイ8:26-27参照)。

時間がたつにつれ、知恵の言葉に従うことが面倒で重荷だと感じるようになりました。ある晩、眠れずにいるとき、信仰が弱くなっていることを実感しました。ありがたいことに、その日妻がメールを送ってくれていました。妻は、状況がどうであろうとも信仰を守り、神に頼り、主の戒めを守るように励ましてくれたのです。妻の励ましを胸に、わたしは助けを祈り求めながら、見方を変えるようにしました。

ある出張中に、同僚がコーヒーを2杯も手に持っていることに気がつきました。なぜ2杯持っているのか尋ねると、

彼はこう答えました。「最近では1杯だけだと頭がぼーっとしてしまうんだ。」

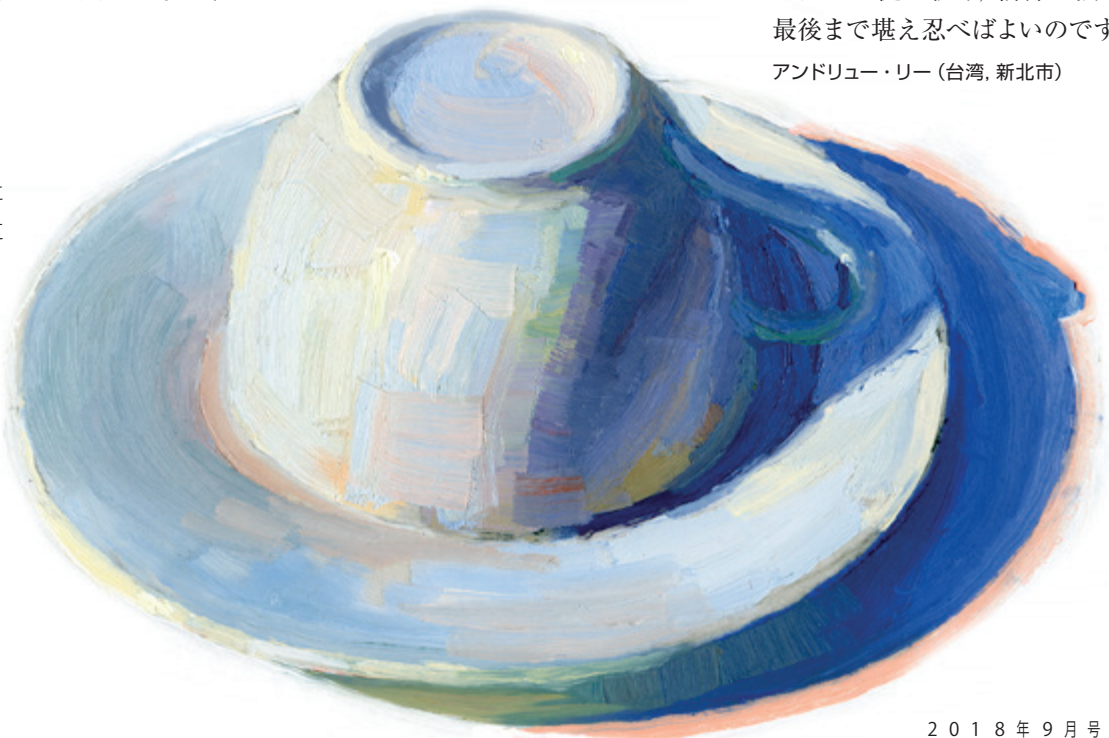
ワインを飲む同僚たちも同じだと気づいて驚きました。眠るために飲む量が増えていたのです。時には、飲みすぎて寝過ごしてしまうことすらありました。

同僚たちがアルコールやコーヒーにどんどん依存していくのを見て、わたしは戒めを守ることがいかに重要か理解しました。知恵の言葉に従うことをやめていたら、わたしも同じ状況に陥っていたことでしょう。

時差ぼけはまだ克服してはいませんが、状況は改善しています。ある朝、熟睡した後に目が覚め、日の出を見ました。窓から朝日が差し込むと、天の御父の助けがあればどのような程度の試練でも何とかなると確信しました。ただ従い続け、信仰を強く保ち、最後まで堪え忍べばよいのです。■

アンドリュー・リー (台湾、新北市)

同僚がぼーっとしないようにコーヒーを2杯も持っていることに気がつくまでは、知恵の言葉に従うことが面倒な重荷だと感じるようになっていました。



ハリケーン「マリア」の後で

2016年8月に、わたしたち家族はカリブ海のドミニカ島に引っ越しました。島の美しさや文化、そして人々がすぐに大好きになりました。地元の支部に出席し、そこで会員から多くのことを学びました。

2017年9月18日、月曜日、カテゴリ5という超大型ハリケーン「マリア」がこの小さな島を襲いました。この強烈なハリケーンによって家や車が道路になぎ倒されていくのを夫とともにじっと見ていました。ハリケーン「マリア」は島を直撃し、甚大な被害をもたらしました。ハリケーンの翌日、わたしたちは道路を歩きながら、ドミニカの豊かで鮮やかな熱帯雨林が荒れ地と化しているのを目の当たりにしました。

その日の朝、歩いて支部の会員たちの家々を訪ねました。無傷で住める状態の家は2軒だけでした。島の北側に住む8家族のうち6家族がす

べてを失いました。ドミニカにある家や建物の80パーセントが居住に適さないと宣告されました。このような悲劇があっても、多くの家族は笑顔を絶やしませんでした。様子を聞いてみると、このように答えました。「生きていだけでも祝福です。」

わたしたち家族は、自立するようという預言者の勧告を心に留めていたため、食糧を貯蔵していました。おかげで多くの隣人、宣教師、支部の会員に食べ物を提供することができました。毎食、平均20人ほどに食事を出しました。周りの人に奉仕し、世話するために食糧貯蔵を使っていると、自らの重荷が軽くなるように感じました。

この経験によってわたしはアルマとその民のことを思い出しました。「〔彼ら〕に負わされた重荷は軽くなった。まことに、主は、彼らが容易に重荷に耐えられるように彼らを強くされた。」(モーサヤ24:15)

水道も電気もなく、不自由な生活が続いても、わたしたちは強められ、困難に打ち勝ち、人々を励ますことができたのです。ハリケーン「マリア」から数か月がたった今、物質的な備えは重要ですが、霊的にも備えておかなければならないのだと痛感しています。イエス・キリストに従い、主を信じる信仰の上に証を築くことで、人生で大風や嵐が周囲で吹きすさんでも、物ともしない堅固な土台を手に入れることができるのです。■

ブリアン・アンダーソン
(アメリカ合衆国、バージニア州)

2017年9月に、カテゴリ5のハリケーンがドミニカ島を襲いました。この強烈なハリケーンによって家や車が道路になぎ倒されていくのを夫とともにじっと見ていました。



「わたしは神様の子供なのでしょうか」

数 回しか教会に行っていないんですけど、ホームティーチャーは忠実にわたしを訪問してくれました。ある夜、彼が電話をかけてきて、次の福音の原則クラスのレッスンで永遠の家族に関する考えを分かち合ってもらえないかと尋ねました。

「はい、いいですよ」とわたしは言いました。

翌朝までそれについてあまり深く考えませんでした。永遠の家族についてすでによく知っているであろう人たちに話す承諾してしまったことに気づいたのです。どんなことを話せばよいか見当もつきません。

ここ何年もの間、わたしは福音から遠ざかるような選択をしていました。自分が信じているかも分からないことについて何と話せばよいのでしょうか。当惑していると、「神の子です」(『賛美歌』189番)の歌詞が心に浮かびました。この賛美歌の歌詞を何年も耳にしていなかったのですが、まだ覚え

ていました。次の瞬間、わたしがほんとうに神の子供なのか神に尋ねる必要があると思いました。

そのとき、わたしは寝室の家具の配置換えをしていたところだったので、部屋の真ん中にベッドが無造作に置かれた状態でベッドの横にひざまずき、思い浮かぶ言葉を待っていました。神に何と言えばよいのでしょうか。神がおられるかどうかさえ分かりません。その瞬間、わたしの心からの望みが簡潔な言葉として出てきました。「神様は、ほんとうにいらっしゃるのですか。もしいらっしゃるのなら、わたしは神様の子供ですか。」

答えはすぐに来ました。わたしが尋ねるのを待っておられたかのようにでした。神がまるで「はい、カミル。わたしはここにいますよ。そしてあなたはわたしの子供です」とおっしゃっているように感じました。

目を開けたとき、わたしはまだ整頓中の寝室にいました。周りの物は皆

雑然としていましたが、自分の人生の秩序が完全に整ったような気分でした。自分が神の子供であることを知りました。そしてそれこそがほんとうに大事なことなのです。

日曜日、クラスでは自分が神の子供であると知るに至った経験を簡潔に話しました。「わたしが神の子供なら、ほかの人もそうです。」

自分が行う必要のあるすべてのことを改めるのにさらに3年半かかりましたが、わたしの人生は一変しました。あの日以来、自分が何者であるか疑問に思ったことはありません。天の御父がいつもそばにおられ、わたしを愛してくださっています。なぜならわたしは神の子供だからです。■

カミル・ネルソン (アメリカ合衆国、ユタ州)





七十人
ケビン・W・
ピアソン長老

救い主を 離れないで

わたしたちは混乱した時代に生きています。しかし、ここで尋ねるべきことは、教会がどのように変化に対処していくかということではなく、わたしや皆さんがそれぞれの状況においてどのように問題に対処していくかということなのです。

何年か前に、友人と昼食を共にしました。わたしたちはもう何年も会っていませんでした。高校時代と大学の初めのころ、彼はわたしの親友の一人でした。彼はわたしが知る中で、とても芯が強く、非常に熱心な若い男性の一人でした。

わたしたちは一緒にセミナーに出席し、スポーツをして、大学に行き、ともに伝道の準備をして、数か月違いで伝道に出ました。伝道後、彼はわたしのステーキの、才能あるすばらしい女性と結婚しました。

年月が過ぎるうちに、わたしたちは違った人生行路を歩むようになりました。それぞれ異なる町に引っ越して、段々と連絡を取り合わなくなりました。彼と奥さんが教会を去ったと聞いてショックを受けたのを今でも覚えています。わたしが青少年時代に親しくしていた友人の中で教会を離れた人がいると聞いても、彼のことは絶対に思い浮かべないでしょう。

わたしたちは昼食をとりながら、二人にとって非常に大きな意味を持っていた、友情を育てていたころの思い出を語り合いました。ばかげたことをした若いころの経験を思い出しては大笑いしました。それぞれの家族について話し、会っていなかった時間の溝を埋めようと思いました。

最後に、わたしは持っていた疑問を尋ねました。「ティム、何があったんだい？ 君はとても深く改心していて、熱心だったじゃないか。なぜ教会を去ったんだい？ 神殿の聖約から離れた理由は何だったんだい？ 救い主からも離れてしまったのかい？ 一生忠実でいようと互いに約束したじゃないか。」

彼はこう答えました。「ケビン、単に今は違ったものの見方をしているだけだよ。教会とその教えに対するわたしの考えは変わったんだ。教会を嫌いなのじゃない。もう必要ないだけなんだ。」

別れるとき、わたしは彼を愛していることと、変わらず大切に思ってい

る友情について感謝を伝えました。それから、心を込めて証を述べました。「ティム、福音が真実だと知っているよ。そして、君もそれを真実だと知っている。君はずっと知っていた。一度ははっきりしていたものが、今はぼやけてしまっただけだ。でも、かつて持っていた聖霊の光と理解を回復できるよ。どうか戻って来てくれ。」

わたしたちは抱き合って別れを告げ、彼はこうささや

きました。「君の信念と情熱を尊敬するよ。でも、なぜそんなに確信を持っていられるんだい？」

わたしは立ち去りながら、それぞれの選択と、それが自分や子孫に与えた影響について深く考えました。

若い友人の皆さん、わたしの友人ティムに起こったことが、皆さんに起こらないようにしてください。皆さんは確固として動かされず、ほんとうに改心していると言えますか。人生の中で避けて通れない、遭わなければならない試練に遭うとき、皆さんは平安と理解をどこに求めるでしょうか。人生が暗く、陰気なものに思えるときも、本能的に、一貫して祈ることを考えるでしょうか。¹

教会、教会の歴史、指導者、教えに対する批判が増すとき、皆さんはどちら側に立つでしょうか。ますます邪悪になる世の考えや慣習が、回復された福音の原則と相いれないとき、皆さんはどうするでしょうか。

「あなたがたも去ろうとするのか」

サタンの最も効果的な武器は、注意を反らすこと、欺き、霊的な感受性を鈍らせることです。これらのことはそれぞれ、信仰をむしばみ、理解を鈍らせ、視点をゆがめます。そして組み合わせることで、今の時代の大きな問題を作り上げていきます。サタンは、ジョセフ・スミス、モルモン書、教会の教義、教会指導者に対する信仰を弱めるだけでなく、救い主と御父の計画を攻撃するためにこれらの方法を使います。昔から常にそうでした。

避けられない火のような誘惑と試練が、最大級の霊的な嵐になろうとしているとき、皆さんは神を信頼し、真理にしっかりとつかまっていられるでしょうか。十二使徒に対する救い主の鋭い質問は、今日も当てはまります。

『「あなたがたも去ろうとするのか。」』

シモン・ペテロが答えた、『主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言



をもっているのはあなたです。

わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。』(ヨハネ 6 : 67 - 69)

大管長会第一顧問だったヒーバー・C・キンボール管長(1801 - 1868年)の力強い言葉を思い出します。聖徒たちは無事にソルトレーク盆地に到着し、かなり満足していました。多くを克服して堪え忍び、少し高慢で自信過剰になっていたのです。キンボール管長は次のように述べました。

「皆さんの多くはあらゆる災いと試練と迫害を受けて、それに耐え、神と神の業に忠実であるか否かを示す多くの機会が与えられることでしよう。……襲いかかる苦難に立ち向かうには、この業が真実であることを自分で知らなければなりません。……もしあなたがまだ証を得ていなければ、正しい生活をして、証を得るまで主に願ひ求めてください。そうしないと、持ちこたえることができないのです。

……いかなる人も借り物の光では耐えられない時代がやって来ましょう。人はそれぞれ自分の中にある光によって導きを得なければなりません。光を持っていない人はどのようにして耐えることができるでしょうか。」²

わたしたちは混乱した時代に生きています。しかし、ここで尋ねるべきことは、教会がどのように変化に対処していくかということではなく、わたしや皆さんがそれぞれの状況においてどのように問題に対処していくかということです。「……真理の旗が掲げられています。いかなる汚れた者の手も、この業の発展を止めることはできません。」³ 皆さんやわたしがその業と一緒に発展するかどうかということだけが、唯一明確ではないことなのです。



どのように霊的に生き残るか

霊的に生き残るためにしなければならない6つの重要な事柄を挙げましょう。

1. まず神を愛し、従ってください。人を愛し、仕える前に、まず神を愛し、神に従うことが必要です。この順序が大切です。ニーファイはこう教えました。「主なる神は理解力に光をお与えになる。主なる神は、人々が理解できるように彼らの言葉に倣って語られる。」(2ニーファイ 31 : 3) 天の御父はわたしたちを愛し、いつでも喜んでわたしたちが理解できるようにしてください。しかし、そのためには生活の中で主を最優先しなければなりません。

2. 個人の祈りをささげてください。祈りは不可欠です。預言者ジョセフ・スミスはこう教えました。「真理と知恵を得る最善の方法は、書物〔そこにはフログも含まれていたことでしょう〕ではなく、祈りによって神のもとへ行き、神から学ぶことです。』⁴ 祈るのにふさわしくないことなどあり得ません。もっと答えが欲しいのなら、さらに質問すればいいのです。絶えず聖霊の影響を探し求め、祈り求めてください(モロナイ 10 : 5 参照)。これこそ、御父が送ってくださる理解をもたらす光です。

3. 「研究によって、また信仰によって学問を求め[てください]」(教義と聖約 109 : 7 参照) 学ぶことは、天から与えられた務めです。自ら選択し、行動する人は学ぶことを求め、受け身の人は作用されるのを待ちます。偉大な指導者は、すばらしい学習者です。教会は偉大な指導者を必要としています。さらに大いなる光と知識、さらに深い理解と改心を求める男女です(教義と聖約 93 : 36 参照)。これには決意と献身が必要です。ウィキペディアを閲覧したり、フログを検索することで、深遠な真理を見出すことはできません。信仰は、信仰を失った人の疑いを聞くことではなく、信仰を持つ人の証を聞くことにより強められます。

4

● 聖文、特にモルモン書を毎日研究してください。わたしたちがこの世の旅路を歩むとき、モルモン書は、日々の生活の中でわたしたちを守り、支えるために特別に書かれました。その力に関して、ニーファイは鉄の棒について証しています。「わたしは兄たちに、それは神の言葉であって、だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりつかまる者は、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることはないと言った。」(1ニーファイ 15:24) 混乱し迷っていると感じたら、再度1ページから始めて、モルモン書を読むことに没頭してください。



5

● 全体像を見ることに焦点を当ててください。皆さんは、イスラエルの集合とイエス・キリストの再臨への備えという、地上で最も偉大な業に加わっています。皆さんには大切な役割があるのです。救い主についての証に雄々しくあろうと決意して、地上にやってきました。それが皆さんの神聖な本質です。全体像、つまり天の御父の幸福の計画に焦点を当ててください。それこそが真理のレンズで、すべての疑問、問題、心配事の背景にあるものなのです。「御霊は真実を語り、偽りを言われることがない。したがって、御霊は現在のことをありのままに示し、未来のこともまた、ありのままに述べられる。」(モルモン書ヤコブ 4:13)



6

● 何よりも、イエス・キリストに頼ってください。イエスは、「世の光であり、命であられます(3ニーファイ 11:11。ヨハネ 8:12も参照)。疑い、困難、誘惑に取り囲まれ、圧倒されたときには、主を信頼してください。人生が思うようにいかず、信頼していた人ががっかりさせられ、裏切られたときにも、主に全幅の信頼を寄せ続けてください。同じように苦悩に満ちた時代にいた古代のニーファイのように、皆さんがこう答えられますように。「それでもわたしは、これまでに自分がだれに頼ってきたかを知っている。……おお、主よ、わたしはあなたを頼ってまいりました。これからもとこしえに、あなたを頼ってまいります。」(2ニーファイ 4:19, 34)



何をすることも、救い主から離れないでください。主の贖いのおかげで、わたしたちは自ら選択し行動するものとなり、作用されるのではなく、行動する自由を持つのです。わたしたち一人一人が全能の神の前に立ち、自ら選択した光と真理について申し開きをするでしょう。

これらの原則に従い、真理にしっかりとつかまっているなら、信仰が失われることはないと言われます。いつも聖霊の力によって真理のレンズを通して見るという選択ができるよう神が皆さんを祝福してくださいますように。■

2017年3月7日、スリガム・ヤング大学アイダホ校のディビジョナルで行われた説教「The Lens of Truth」(「真理のレンズ」)から。

注

1. 「部屋を出る前に」『賛美歌』78番参照
2. In Orson F. Whitney, *Life of Heber C. Kimball* (1945), 449 - 50.
3. Joseph Smith, in *History of the Church*, 4:540.
4. Joseph Smith, in *History of the Church*, 4:425.



自分自身を
受け入れるのに
何年も苦勞した後、
わたしはやっと
自分の永遠の価値を
理解できるような奇跡を
経験しました。

自分の中にある 神性を見いだす

ダイアン・コース・ダ・シルバ

わたしは子供のころから、体重に悩み、自分自身を受け入れるのに苦勞してきました。初め、体重のせいでつけられたあだ名は害のないものでしたが、時間がたつにつれ、自分の容姿について言われる否定的な事柄は、自分の人格についても否定的なことを意味していると信じるようになりました。

10代になって、自分の身体的特長は気に入っていたものの、自分の体型は世の中の理想とはそぐわないことに気づき始めました。もの静かな性格も気に入っていましたが、人がわたしに期待するものとは違いました。クラスの先生たちはわたしにもっと発言することを求めましたし、男の子たちは話し上手な女の子が好きでした。わたしはよく、本来の自分よりもっと積極的になる必要があると言われました。少しずつ、自分の価値が揺らぎ始めました。

ヤングアダルトの時期はずっとふさいでいましたし、自分の身体が嫌で、主はなぜわたしをもう少しきれいで魅力的に造られなかったのだろうと疑問に思っていました。必要以上にダイエットをしましたが、皮肉なことに体重を減らそうとすればするほど増えてしまいました。独身で、内向的で、体重過多のヤン

グアダルトは、とても将来に希望が持てそうにありませんでした。

わたしは挫折感を味わい、望むような減量ができなかつたり、社会的になれなかつたりしても、そのままの自分でいようと決心しました。自分を嫌うのをやめましたが、まだ自分を、美しい、価値のある神の娘だと思えずにいました。単純に、自分の価値を見いだそうとするのをやめてしまったのです。

必要としていた光

ある日、奇跡が起きました。それは、2016年9月に行われたヤングアダルトに向けたワールドワイド・ディポーショナルで、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老の妻メリー・G・クック姉妹が話した、「日々の生活の中に喜びを見いだす」というお話を読んでいたときでした。「この地上に来たとき、わたしたちは神の子供として神の特質を携えていました。個人の価値は天与のものです。」これを読んだとき、ほんとうに必要なのに得られないと思っていて一筋の光がわたしの心に射したように感じました。以前は、自分を好きになるなんて間違ったことだと感じていました。なぜなら、世が掲げる美しい、価値ある女性像に自分が当てはまらな

かったからです。その言葉を読んだわたしは、自分の内向的でおかしな性格、ぼさぼさの巻き毛、茶色の瞳、ジャガイモのような丸い鼻、満面の笑み、ぼつちやりしているけれど必要な機能をきちんと果たしてくれる身体でさえとても気に入っているのだと気づきました。自分が神の創造物であることに感謝するようになりました。神の創造の業に間違いはないことをようやく理解しました。

何年もの間、感情的、肉体的に葛藤して苦しんだ末、多くの人には分かり切ったことかもしれませんが、わたし個人の価値は世の考えとは関係がないという真理をついに学びました。個人の価値とは天から授けられたものなのです。わたしがそれを理解しないときでも、それはいつもそうでした。わたしの価値は天の御父とイエス・キリスト以外に、メディア、仲間、ほかのだれにも決められることはありません。御二人は、わたしのために救い主が命をささげられたほどわたしには価値があると理解してくださっているのです。

キリストにおける土台

神の目から見た自分の価値について御霊から学んだことにより、わたしの中で多くのことが変わりました。生活が再び楽しくなりました。数え切れない祝福にさらに感謝するようになりました。正しいことをしようとさらに努力したいという大きな望みを感じ、自分自身と自分の夢をもっと信じるようになりました。それはわたしに、周りの人にもっと親切で忍耐強くありたいという望みを与え、わたしを救い主にさらに近づけてくれました。

世の声は騒ぎ立て、批判を続けます

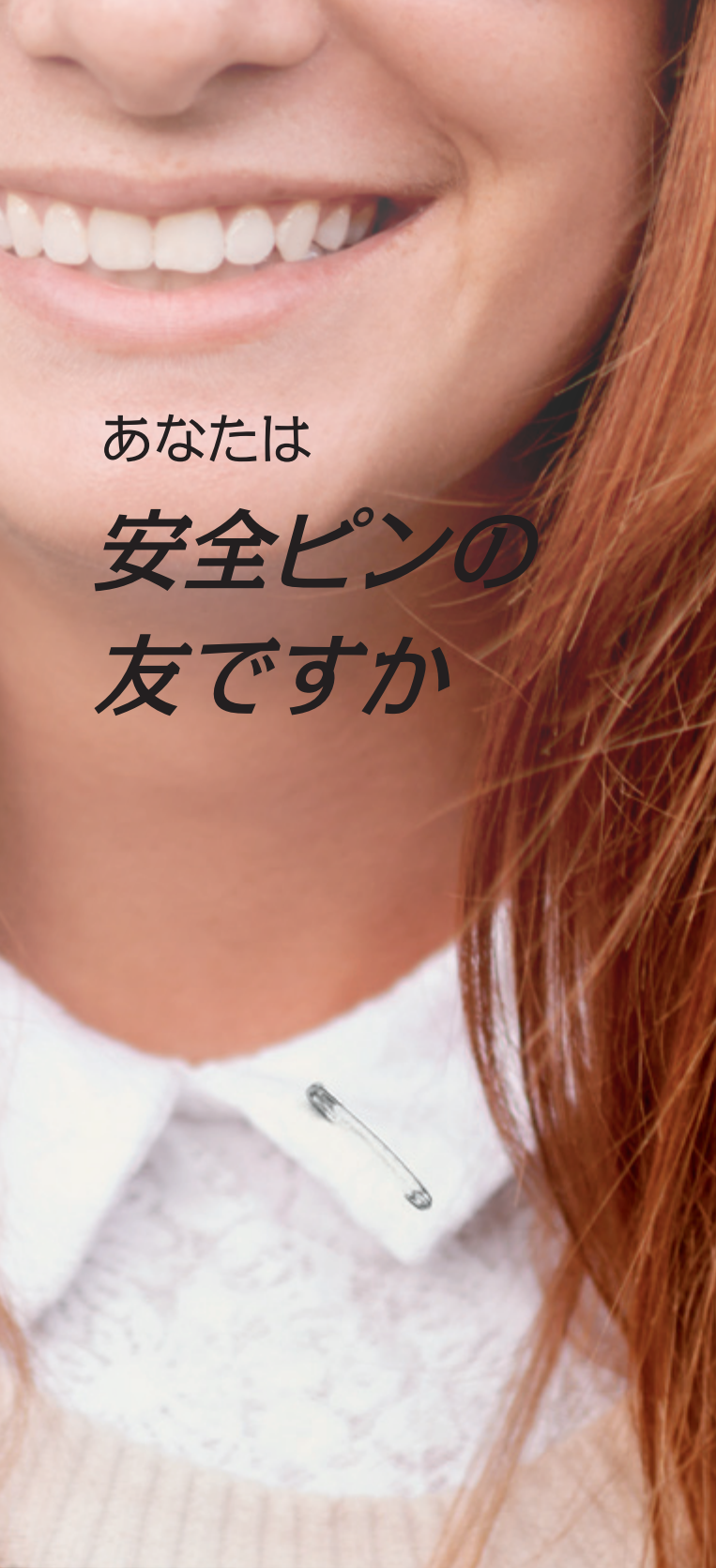
が、わたしは二度と忘れたくない自分の価値という強固な知識を持っています。その知識はわたしに、会う人すべてに分かち合いたいと思うほどの平安と喜びをもたらしてくれました。そのデイポーショナルの話を通して、わたしは自分の価値や自尊心でさえキリストにあって堅固な基の上に築く必要があることを学びました。「そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の雹と大嵐が〔わたし〕を打つときにも、それが不幸と無窮の苦悩の淵に〔わたし〕を引きずり落とすことはない。なぜなら

ば、〔わたし〕は堅固な基であるその岩の上に建てられており、人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないから」です（ヒラマン5：12）。

主と、主がわたしたちすべてのの中に御覧になる永遠の価値に感謝しています。福音に従って生活しようと努力し、その知恵を分かち合ってくれるクック姉妹のような靈感あふれる女性に感謝しています。この世の生活、身体と心という奇跡、わたしたちそれぞれにある神性に感謝しています。■

筆者はアメリカ合衆国ニューヨーク州在住です。





あなたは 安全ピンの 友ですか

あなたを頼りにしていいと友人に分かってもらうにはどうすればよいでしょうか。

教会機関誌
マリッサ・ウィディソン

アベルが行方知れずになったとき、主は兄のカインに弟がどこにいるか尋ねられました。「わたしは弟の番人でしょうか」とカインは答えました。

言い換えれば、カインはこう言ったのです。「なぜわたしが知っていなければなりませんか。弟を見守るのはわたしの仕事ではありません。」

その一方で、イエス・キリストは人を心にかけることについてかなり違ったメッセージを教えておられます。主は、わたしたちがしてほしいと望む方法でほかの人々に接するようにと言われました。これには互いに助けること、心にかけること、見守ることが含まれます（ルカ6：31参照）。

あなたの周りには悩んでいる人がたくさんいます。あなた自身も悩んでいるかもしれません。どのような場合であれ、イエス・キリストに従うことを選択することで、違いを生み出すことができます。

安全ピンの友

ある友人のグループが、互いに手を差し伸べるための変わった方法を見つけました。彼らは家族の状況や生い立ちは異なりましたが、互いを心にかけて、友情を強めたいと思いました。

彼らのうちの一人が、家庭で特につらい状況にありました。時々自分が消えてしまえたらいいのと思っているけれど、ほかの人に裁かれるのが心配だからその気持ちを押し殺して笑顔でいると仲間に打ち明けました。

友人たちは、彼女に自分たちといて安全であること、彼女がいるおかげで世界はより良い場所になっていることを分かってほしいと思いました。それで、ある計画を思いつきました。安全ピンを身につけることにしたのです。一人一人が毎日安全ピンを衣服につけることで、安心で、揺るぎない、頼り合える友情を築こうと決意していること、そしていつも仲良くしていきたいと思っていることを互いに思い起こしました。

何年かが過ぎ、この若い女性はまだ「安全ピンの友」を覚えていて、彼らが自分を心にかけて安心感を与えてくれたことに感謝しています。

あなたにできること

友人を支えるために安全ピンをつける必要はありません。しかし、友人を見守り、大変な苦勞をしている人を強め、助けを必要としている人が頼れる友人となるために何ができるかと自問することができます。

「わたしたちは皆、人を裁くのではなく愛することがうまくできるようになるべきです。わたしたちはもっと、人を受け入れるようになるべきです」と十二使徒定員会のデール・G・レンランド長老は話しました。「『……彼らを

「わたしたちは皆、人を裁くのではなく愛することがうまくできるようになるべきです。わたしたちはもっと、人を受け入れるようになるべきです。」

あわれみ、火の中から引き出して救ってやりなさい』(ユダ 1:22 - 23) というのがわたしたちのすべきことです。」¹

では、周りの人々を助けるために、あなたには何ができるでしょうか。想像力を刺激するために、幾つかアイデアを挙げましょう。

- 神に助けを祈り求めます。単純なようですが、力強い方法となります。神はあなたの友人を完全に理解しておられます。神はあ

なたを完全に御存じですから、思いやりある友人になれるよう助けることがおできになります。

- 友人が悩んでいることを示す兆候がないか注意します。
- 奉仕するためのささやかで、個人的な方法を見つけます。元中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹はこのように言っています。「まず気づき、それから仕える。」² あなたの友人について、どんなことに気がつきますか。彼らの好きなこと、嫌いなことは何でしょうか。彼らには何が必要でしょうか。それが分かれば、あなたらしい、個人的な方法でだれかを助けることができます。
- 忘れないでください。愛にあふれた、支えになってくれる友人になるということは、あなたがほかの人の行動に責任を持つという意味ではありません。あなたは、彼らの幸福に責任を負っているわけでもありません。
- 互いに支え合っていることを思い起こすために、安全ピンをつけるといったような、友人と一緒にできる楽しいことを考えてください。ある青少年たちは、面白い靴下を作って、「勇気、親切、奉仕を追い求める者たち (seekers of courage, kindness, and service)」の頭文字を取って靴下 (socks) となることを決意しました。ほかのグループは、彼らがどのように感じているか表す色を使ってお互いの心の状態を確認しました。例えば、ある日だけ

かが「紫」の気持ちになったら、ほかの友人はその人が特に愛を必要としていることが分かりました。

- 友人を限定しないでください。イエスは、世が見捨てた人々と友人になりました。友人を作るのに苦勞している人を含めて手を差し伸べるとき、主の模範に従っていることになります。

人生は、ときにつらいこともあるでしょう。しかし、あなたは強く、力があります。あなたの優しさと心遣いは、だれかの人生を変えるかもしれません。友人たちはあなたを必要とします。主の導きを求めてください。そうすれば、主は試練にあってあなたを支え、世界をより良い場所にできるようあなたを助けてくださるでしょう。■

筆者は、教会の自殺防止委員会の一員です。

注

1. 2018年1月23日のレンランド長老とのインタビュー
2. リンダ・K・バートン「まず気づき、それから仕える」『リアホナ』2012年11月号, 78



さらに読む

ユタ州のある青少年のグループが、どのようにして、自分たちの高校にさらに希望をもたらしたかは、この号にある「希望の大使」を読んでください。

希望の大使： 自殺を 防ぐために ともに働く



イエス・キリストの光と希望を伝えることにより、友達を強めることができます。



教会機関誌
マリッサ・デニス

外 交の世界において、大使は他の国の人々に対して自分の国を代表します。しかし、あなたは、パスポートがなくても、大使になることができます。時として真っ暗に思える世の中において、希望と光の大使となることのできるのです。学校のHOPE班（ピアツーピア自殺防止プログラム）の一員であるアメリカ合衆国ユタ州のジャクソン・L（左の写真、茶色いズボンの男の子）に少し話を聞いてみましょう。彼は、Hope4Utah（ホープ・フォー・ユタ）と呼ばれる組織を通じて、危険な前兆に気づき、友達として寄り添い、学校に希望をもたらす方法を学びました。

あなたが必要です

「HOPE 班に所属して、多くのことに気づかされました」とジャクソンは言います。「悩み苦しんでいるクラスメート、友達、家族がいます。」

ジャクソンは、友達が決めることに責任はないものの、友達がその危機を乗り越えるのを助けるためにできることがたくさんあることを学びました。研究によれば、落ち込んだり自殺を考へたりしている 10 代の 10 人に 7 人は、大人に話す前に友達に話すことが分かっています。¹ このことは、あなたが友達を助けるための絶好の立場にいることを意味しています。

前中央若い女性会長会第一顧問のキャロル・F・マッコンキー姉妹はこう言っています。「わたしたちには聖約により、互いに見守り、助け合い、この道をともに歩む責任があります。言葉を換えて言うなら、携帯電話から手を離し、あなたの助けを必要としている人に目を向けるということです。」²

校や友達に影響を及ぼすために正式な組織に所属する必要はありません。いつでも、どこでも使えるヒントを紹介しましょう。



すべきこと。

希望の大使になるために、**気づき、手を差し伸べ、報告するよう**努力しましょう。

1. 助けを必要としている人の前兆に**気づく**。³ 次のような人々に注意を払ってください：

- 落ち込んだり、希望を失ったりしている。
- 睡眠、食事、衛生習慣に変化がみられる。
- 無謀な行動を取っている。
- 「生まれて来なければよかったんだ」とか、「ほくがいない方が皆のためだ」などと言い、自殺について口にしたり、自殺の計画を立てている。
- 友達との交わりを避け、活動に参加しない。
- 貴重な持ち物を人にあげている。
- 家族の死、大きな生活の変化、いじめなどのストレスの多い状況に苦しんでいる。

2. **手を差し伸べる**。大使となるには、人と関係を築くことがいちばん大切です。友達とオープンに話せる時間を見つけてください。自傷行為や自殺の話を持ち出せば事態を悪化させるのではないかと心配するかもしれませんが、実はそうではありません。勇気を出して率直に話すとき、実はその人に命綱を差し出し、その人を心配していることを知らせているのです。

「悩んでいるのですかと友達に尋ねるのを恐れなくてください」と自殺防止の専門家であり、Hope4Utah の創設者であるグレッグ・ハドノール博士は言います。「単刀直入に話してください。でも、説教をしたり、裁いたりしないことです。」博士は「わたしメッセージ」を使うよ



「自分自身の価値について悩んでいる人や生きる目的を見いだすために悪戦苦闘している皆さん、神が間違いなくあなたを愛しておられることを伝えたいと思います。神はあなたをよく御存じです。あなたの苦しみも御存じです。そして、救い主はあなたを支えるために近くにおられるのです。聖霊を求めるとき、日々の生活にその力を感ずることが出来ます。……信頼する人たちに助けを求めて話す勇気を持つようにお勧めします。そのことを話すということは、すなわち、あなたが愛し、あなたを愛する人と重荷を分かち合うことになるからです。それが癒しの過程なのです。」

キャロル・F・マッコンギー姉妹, 中央若い女性会長会第一顧問

うに勧めています。説教ではなく、心配し気にかけていることが伝わるからです。例えば、「今日クラスにいたとき、(わたしには)あなたが悩んでいるように見えたんだけど。(わたしは)あなたが大丈夫か心配で。自分を傷つけようと考えているの?」

御霊の助けによって言うべきことが分かるように祈ってください。友達が自殺を考えたり、うつ病や不安神経症のような別の重大な問題に苦しんだりしている場合、「元気を出して」と言って終わらせないでください。十二使徒定員会のデール・G・レンランド長老はこう教えています。「健康で一時的に憂鬱ゆううつになっている人に対する話し方と、精神的な病を抱えている人に対する話し方とは違います。」レンランド長老は次のように言うことを勧めています。「君は独りじゃないよ。ぼくたちが一緒にいるんだ。乗り越えられるように力になるよ。」

そして、その次に何を言うかを考えるのではなく、ほんとうに耳を傾けることを忘れないでください。レンランド長老はこう言っています。「その人がどう感じているかについて話してもらい、説明してもらってください。恐らく、話すように促す方が助言を与えるよりも大切だからです。」⁴

3. **報告する。**友達が苦しんでいることが分かったとき、その悩みを自分一人の胸に納めておこうという気持ちになるかもしれません。友達に、だれにも言わないように頼まれるかもしれません。でも、大使は口を開くのです！親や学校のカウンセラーや教会の指導者のような信頼できる大人と一緒に話しに行こうと提案してください。全国いのちの電話や緊急時メール連絡サービスを提供する機関を紹介してください。彼らが自分や他人を傷つける恐れがある場合、病院に連れてい



もしあなたが 悩み苦しんでいるなら

諦めないでください！あなたは大切な人で、愛されています。あなたの存在が世の中をより良い場所にしています。ですから、あなたの命は救う価値があるのです。親、学校のカウンセラー、教会の指導者など、信頼できる大人に話し、助けを求めてください。危機的な状況にあるのなら、全国いのちの電話（「リソース」を調べてください）に電話してください。暗闇や絶望しか感じられないときでも、光と希望を見いだせるようにイエス・キリストが助けてくださいます。

リソース（英語）

- befrienders.org
- suicide.org/international-suicide-hotlines.html
- iasp.info
- suicide.lds.org

くか救急サービスに電話して、専門家の助けが得られるまで一緒にいてください。差し迫った危険がない場合、継続的に寄り添って支援する方法を探してください。「何かに参加できる機会を作ってください」とハドノール博士は言います。「ランニングやサイクリング、水泳など、体を動かすことに誘ってください。」身体的な活動は、動くことで気分転換ができるので、効果的です。

自分の力を過少評価しない

すべての人に頼りになる友達がいたら世の中がどう変わるか、ちょっと想像してみてください。わたしたちは世界全体を救うことができませんが、友達を必要としている人の友となることはできます。

マッコンキー姉妹は、「あなたの友達の輪を積極的に広げ」、「自分と違う人々でも受け入れてください」と強く勧めています。だれかと友達になることで、その人が希望を持って前に進むか、自殺のような破滅的な行動を取るかの分かれ目になるかもしれません、とマッコンキー姉妹は述べています。「影響力を発揮してください」とマッコンキー姉妹は勧めています。「皆さんには善を行う大きな力があります。」

手を差し伸べることにより、希望の究極的な源であるイエス・キリストの模範に従っているのです。

「HOPE 班のアドバイザーは、ほくたちを希望の大使と呼んでいます」とジャクソンは言います。「その言葉が好きです。ほくたちは希望の大使であるだけでなく、イエス・キリストの大使でもあるからです。究極的には、主がほくたちの希望なのです。」

キリストのような愛を示すとき、希望と癒しを見いだす助けをすることができます。

「もしイエス・キリストがこの地上におられたなら、主はちょうどほくたちがしているように、ほかの人々に手を差し伸べておられるはずです」とジャクソンは言います。「主が行われることを自分がしていると知ることで安らぎを感じます。」■



あなたは安全ピンタイプの友達ですか？

その答えを知るには、この前の記事を読んでください。

「わたしたちが次の日、またその次の日、そしてまたその次の日と、一日一日を乗り越えるよう努力するとき、……主はそうできるように助けてくださいます。イザヤ書には、特にこのことに関するすばらしい聖句があります。イザヤはこう言っています。『あなたが疲れているとき、主なる神は朝ごとに目覚めさせてくださる』（2 ニーファイ 7:4）。主は毎日そこにおられます。……ですから、あなたにできる最善のことが朝ベッドから起き上がることだとしても、主がそこにあなたとともにいてくださることを知ってください。それを勝利だと考え、その後も続けてください。それがその日に起こり得る最高のことだとしたら、それを続けてください。」

十二使徒定員会、デール・G・レンランド長老

注

1. 「What Are Hope Squads?」 参照 Hope4Utah, hope4utah.com/hope-squad.
2. 2018年1月19日、マッコンキー姉妹へのインタビューから
3. “The Warning Signs of Suicide,” Befrienders Worldwide, befrienders.org/warning-signs, and “Suicide: What to Do When Someone Is Suicidal,” Mayo Clinic, mayoclinic.org/diseases-conditions/suicide/in-depth/suicide/art-20044707. 参照
4. 2018年1月23日、レンランド長老へのインタビューから

紫禁城で迷子に

サラ・キーナン

わたしは中国の北京にある紫禁城の真ん中にいました。ほんの数分前まで友達や教師たちに囲まれていたのに、気がつくと独りぼっちになっていました。

自分が危険に直面していることがすぐに分かりました。15歳のアメリカ人がたった一人で、騒々しい宮殿の博物館に場違いなほど目立って立っていたのですから。わたしは学校主催の旅行で、高校のクラスメートと一緒に中国に来ていました。外国旅行中は注意をしなければ危険な目に遭うかもしれないと、教師やガイドに繰り返し注意されていました。

わたしはその辺りを歩き回り、中国人観光客や外国人観光客の人混みを押し分け、つま先立ちになってグループの全員がおそろいで着ている赤と白のシャツを探そうとしました。でも、見つかりませんでした。どういうわけか、わたしのグループはわたしを置いてその場を去り、どっちに行ったのか、皆目見当がつかなかったのです。わたしは腰を下ろし、幾つか



なる

以前に御霊を感じた
ことはありましたが、
具体的なものではなく、
ましてやどこに行けば
よいかという導きを感じたことは一度も
ありませんでした。

の入り口と出口をじっと見ていました。10分、30分、45分と時間が過ぎましたが、グループの人はだれも目に入りませんでした。

すると、だれかがわたしの手をつかみました。目を上げると、背の低い女性が見えました。少し気のふれた目をした、爪の長い人でした。彼女はわたしの手を引っ張り、「わたしについておいで」と片言の英語で言いました。「かわいい子、ついて来て。」

わたしはすごく不安な気持ちになりました。わたしは「あっちに行って」と叫び、手を引き戻しました。再び手をつかまれる前に、わたしは急いで出口の方に走り抜け、紫禁城の別の区域に入りました。

しばらく走ると、前よりもっと迷ってしまいました。わたしは人混みから離れた近くの段に座り、泣き出してしまいました。中国語の単語を少しは知っていましたが、広大な北京の反対側のどこかにあるホテルに帰る道順を尋ねるにはまったく不十分でした。その時点で、出口の場所もはっきりと覚えていませんでした。

泣きながら、祈り始めました。ほんの一瞬でもグループから離れた自分の愚かさを認め、自分のグループを見つける方法を教えてください。天の御父に願い求めました。

わたしは立ち上がり、わたしが来たおおよその方向に向かって歩き出しま

した。すぐに啓示を受けたわけではありません。たとえ受けたとしても、啓示がどのように聞こえ、感じるものか確信がありませんでした。だれかに奉仕をした後や教会で話を聴いて温かく感じるなど、以前に御霊を感じたことはありましたが、具体的なものではなく、ましてやどこに行けばよいかという導きを受けたことは一度もありませんでした。心の中で祈り続けながら、確信のないまま前に向かって歩き始めました。

とうとうわたしは、道路が二つに分かれているところに来ました。右に行こうとし始めたとき、「そこにいなさい」とささやく声が聞こえました。

その声はとても小さかったので、自分の考えかともう少しで完全に無視するところでした。しかしその声には、自分にはまったくなかった確かさがありました。「あのベンチに座りなさい」とその声は言いました。目を上げると、分岐点の真ん中にベンチがあるのが見えました。わたしはそこに行き座りました。それからほんの3分後のことです。見覚えのある白と赤のシャツを着た人が人混みの中から現れ、わたしに向かって手を振ったのです。その人はその日のツアーガイドでした。

わたしは座っていたベンチから跳び上がりました。うれしさのあまり、その女性に抱きつくところでした。

「1時間も探していたのよ!」と彼女

は言いました。「どこにいたの?」

彼女に連れられてグループに戻る途中、グループと離れ離れになってから、道路の分岐点で右に行くのをやめてベンチに座ると決めるまでのことを説明しました。

「あなたはとてもラッキーだったわね」と彼女は言いました。「あの曲がり角で右に行っていたら、あなたはグループとは反対の方向に行ってしまうたのよ。」紫禁城はとても広いから、あなたを見つけることはできなかったと思うわ。」

どうにか再び迷子にならずに旅行を続け、数週間後に中国を離れました。それ以来、わたしはささやく御霊の声を聞いたときのことを何度も思い出しました。それは、わたしが以前に受けた促しと同じ種類のものではありませんでしたが、主はわたしが間違った道に行くことを避けるために必要なことを御存じだったのです。また、耳を傾けていなかったら簡単に聞き逃していたであろうということもよく分かりました。

その日から、わたしは身体的な危険や霊的な危険の両方について様々な方法で警告してくださる御霊の声を何度も聞いてきました。紫禁城での最初の日のように、その声に従ったときと従わなかったときの結果も時々目にしてきましたが、たいていの場合は、その結果を目にすることはできませんでした。でも、自分が謙遜になり、進んで耳を傾けると、主は御霊の促しを認識できるように助けてくださり、わたしが行くべきところに戻れるよう導いてくださることを学びました。主とともにいれば、決して独りぼっちではないのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



預言者ジョセフ・スミスと あなたへの啓示

教会機関誌
ライオン・カー

ジョセフ・スミスが成し遂げたすべての偉大なことについて考えてみましょう。モルモン書を翻訳し、教会を設立し、神権を授かり、神殿を建設し、回復された福音を教え、宣教師を送り出しました。そしてさらに驚くべきことに、彼はそれらのことを実に若いときに行っています。

ジョセフはそれらを実行する方法をどのように知ったのでしょうか。幸運なことに、彼は憶測で行動する必要はありませんでした。啓示によって導かれていたからです。これらの啓示を通して、主はジョセフに教義を教え、教会を組織するために導き、重要な質問に答えられたのです。その多くが現在の教義と聖約に載っています。幾つか例を挙げましょう。

啓示によって答えられた質問

- だれがバプテスマを施す権能を持っているのでしょうか。1829年5月15日、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはバプテスマについて祈りました。バプテスマのヨハネが現れて、彼らにアロン神権を授け、お互いにバプテスマを施すように命じました（教義と聖約13章参照）。
- たばこを使ってもいいでしょうか。たばこをかんだり、吸ったりすることはジョセフ・スミスの時代には一般的なことでした。

1833年にジョセフはこれについて導きを求めて祈り、知恵の言葉として知られている啓示を受けました。その啓示の中で「たばこは体のために良くない」と述べられています（教義と聖約89章参照）。

- なぜ死者のために神殿の儀式を行うのでしょうか。預言者ジョセフ・スミスの指示により、教会の会員たちはカートランド神殿とノーブー神殿を建てました。そこで彼らはバプテスマやそのほかの神殿における儀式を執行することができました。教義と聖約128章にはこう書かれています。「[[わたしたちの先祖] なしにはわたしたちが完全な者とされることはなく、またわたしたちなしには彼らが完全な者とされることにはないのです。』（18節参照）

あなたも個人の啓示を通して、主から人生における導きや自分の疑問の答えを受けることができます。時には、そのような疑問の答えが聖典から、また心や思いの中で感じる靈感を通して与えられることがあります。そして、どのような結果になるか分からないながらも、従順でいようと全力を尽くし、信仰をもって前進するときもあるでしょう。

たいていは、自分に必要な靈感や導きを見いだすのに時間がかかるものです。預言者ジョセフのように、あなたも

「教えに教え、訓戒に訓戒を与え〔られて〕」主の御心を学ぶことができます（教義と聖約98：12）。預言者が行ったように、祈りから始めましょう。天の御父に、聖霊を通して与えられる靈感を求めましょう。聖文と現代の預言者の教えを研究しましょう。自分で決断してから、それが正しいかどうか尋ねましょう（教義と聖約9章参照）。

時間をかけて学ぶ

この地図を見れば、ジョセフ・スミスがいつ、どこで主からの啓示を受けたのかが分かります。啓示は、主の御心によって、ジョセフ・スミスがそれを



教義と聖約は、啓示がどのように預言者ジョセフ・スミスを導いたのかを示し、また靈感がどのようにあなたの人生を導くことができるのかについて、一つの規範を示しています。

必要としていたときに与えられました。

ジョセフはオハイオ州カートランドにおいて46の啓示を受けましたが、主からの導きを継続して受けるために、そこにとどまる必要はありませんでした。ペンシルベニア州やニューヨーク州、またミズーリ州やイリノイ州でも啓示を受けました。

これらの啓示は、長い年月をかけて与えられたものです。例えばジョセフ・スミスが神権について知る必要のあったことすべてを、主が一つの啓

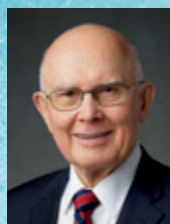
示でお示しになればよかったのにも思いますか。そうではなく、主は預言者に神権についての啓示を1829年、1830年、1832年、1835年、1841年などにお与えになっています（例として教義と聖約13章：20章；84章：107章；124章を参照）。

あなたの福音の知識も時間をかけて増していきます。あなたが聖霊の助

けを受けて、聖典や総大会、教会の集会、セミナーなどを通して福音を学ぶときに、ジョセフ・スミスが経験したように時間をかけて理解が深まっていくのです。■



それぞれの場所においてジョセフ・スミスが受けた教義と聖約における啓示の数



若いときに成し遂げた偉業

「[ジョセフ・スミスは] 14歳で最初の示現を受け、天使モロナイが初めて訪れたのは17歳のときでした。21歳で金版を授かり、わずか23歳のときにモルモン書の翻訳を（通算して60日足らずで）終えています。教義と聖約の啓示の大半は、預言者が25歳以下のときに受けたものです。」

大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長 「ジョセフ——人として預言者として」
『聖徒の道』1996年7月号, 81



あなたの
選択の
自由は
闘うに
値します。

あなたの**選択の自由** のための**闘い**

教会機関誌
デビッド・ディクソン

神の戒めを守ることによって、自由がもたらされます。まだその真理に対する証を得ていない人にとって、そのような言葉は混乱を招くかもしれません。結局のところ、もし近所のだれかがやって来て、行くべきこと（または行ってはならないこと）のリストを手渡されたら、あなたは個人の自由を**侵害**されていると感ずることでしょう。

しかし、神の戒めを守ることによって、ほんとうに自由になれるのです。それは罪が引き起こす否定的な影響からの自由、そして義がもたらす祝福を受ける自由です。

神の戒めを破ることは、囚われの状態へと導きます。選択の自由を失うことも囚われの状態に在ることだと言えます。自分が囚われの状態にあるときには、人生における多くの選択が難しくなります。

聖典から、サタンが前世において「人の選択の自由を損なおうとした」ことが分かります（モーセ4：3）。また、サタンが天上における戦いで勝つことはなかったこと、そしてあなたが勝利した側にいたということも知っています。

気をつけなければいけないことは、サタンが今でもあなたの選択の自由を損なおうとしているということです。しかし恐れることはありません。あなたは、この戦いにおいても勝利することができます。

囚われの状態で生活する

モルモン書の中で、イエスはこう教えられました。「あなたがたは悪魔に誘惑されないように、また悪魔に捕ら

えられないように、常に目を覚ましていて祈らなくてはならない。」（3ニーファイ18：15）

悪魔に捕らえられた状態は、考えるだけでも恐ろしいものです。しかし、そのような結末を想像するとき、皆さんは最後の裁きのことだけを考えているのではないのでしょうか。実は、もっと身近な方法で囚われの状態に陥る場合もあります。そしてそれはかなりささいな方法で訪れます。

十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は次のように教えています。「人は、有害で常習性のある物質だけではなく、義にかなった生活から引き離す有害で依存性のある様々な思想で自らを束縛したり、隷属させたりすることがあります。」（「エレミヤの哀歌——束縛に注意する」2013年10月総大会から）

有害な薬物やニコチンなどの常習性のある物質に囚われてしまうことは、容易に理解できます。しかし、うそをつくという習慣に囚われてしまうのはどうでしょうか。たった一つのうそによってでも、自分でかけたわなにかかってしまうのは簡単なことなのです。

短気であることや、うわさ話をすることに囚われてしまうのはどうでしょうか。

または、神がわたしたちに命じられている日々の義にかなった行い（祈りや聖文学習など）をただ行っていないことはどうでしょうか。それも選択の自由を失った結果なのではないでしょうか。

はい、そのとおりです。このように考えるとそれが理解できるでしょう。運動選手や演奏家がまったく練習をしなくなったらどうなるのでしょうか。

答え——彼らが持つ最高のパフォーマンスを発揮する能力はすぐに失われてしまいます。それは選択の自由を失うことと同様に思えないかもしれませんが、確かにそうなのです。自分の最高のパフォーマンスを発揮できない運動選手や演奏家は、その技術や能力をどのように使うかという選択の幅が狭まってしまいます。自分の能力を低下させてしまうことにより、以前よりもできることが少なくなり、選択肢が減ってしまうのです。

同様に、あなたも聖霊を伴侶とすることなしに、最高の自分になることはできません。聖霊の助けは、毎日必要です。それは、わたしたちがこの世において受けることのできる最も素晴らしい賜物の一つであり、義にかなった日々の生活を通してそれを得ることができるのです。

真の自由を見いだす

使徒パウロはこう教えました。「自由を得させるために、キリストはわたしたちを解放して下さったのである。だから、堅く立って、二度と奴隷のくびきにつながれてはならない。」（ガラテヤ5：1）モルモン書の中で、ベニヤミン王は次のように教えています。「そしてあなたがたは、この称号の下で自由を得た。このほかにはあなたがたに自由を得させる称号はない。……救いをもたらす名はほかに与えられていない。だから、キリストの御名を受けて……ほしい。」（モーサヤ5：8）

真の自由はキリストに従うことから得られるのです。ですから、自由になることを選びましょう。■

わたしたちのスペース



正しい誤答

高校で哲学のクラスを履修登録したとき、父は少し心配していました。哲学においては、すべてが疑問の対象とされ、神の存在ですらそうだったからです。わたしの教師は、宗教に反対したり、神の存在を否定したりするようなことを教えました。

ある哲学の試験で次のような設問がありました。「わたしたちはなぜこの地上に来たのでしょうか。」わたしが書くべき解答は、「自己実現をし、様々な生き方の中で自分の居場所を確立する」というものでした。しかし、その答えは自分が信じているものではなかったのです。そのようには書きませんでした。

その代わりにこう書きました。「わたしたちは試しを受け、天の御父のもとに戻り、わたし

「自分に対して真実であるとは、常に義にかなったことを選んで模範的な生活を送るという意味である……。」

ゴードン・B・ヒンクレー（1910 - 2008 年）
『誠意を尽くし、忠誠を守る』『聖徒の道』1996年7月号, 106

たちの家族とともに永遠に住むことができるように地上にきました。」

後になって教師から呼ばれ、わたしがその質問の正解を知っていたか聞かれました。わたしは、知っていたけれど、真実ではないと自分で分かっていることを書くつもりはなかったと教師に伝えました。

彼は、わたしが宗教を信じているのか、またどの教会に属しているのか尋ねました。わたしは、自分が末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であると伝えました。彼は、それほどまでに自分の信念を固く守り、勇敢にもこのような答えを書いた宗教心のある学生は、これまで見たことがないと言い、こう付け加えました。

「君の答えは正解ではなかったのですが、満点をあげることはできないが、自分の信じていることについて勇敢に書いたことに対して得点をあげよう。」

わたしは自分が確信し、それに添って生活しようとしている福音の真理に従って答えることができたので、うれしく思いました。■

ベンジャミン・M (チリ)

—
どのように真理を擁護することができるでしょうか。

1. あなたの信仰に疑問を投げかけられたときに、どう答えるか、今決断しましょう（1ペテロ 3：15 参照）。
2. 勇敢に行動し、何を言うべきか分かるように祈りましょう（申命 31：6；教義と聖約 100：5-7 参照）。
3. 信仰を強めるために、聖典と現代の預言者の言葉を研究しましょう（教義と聖約 88：118 参照）。
4. 自分が信じていることを伝える練習のために、家でも教会でもよく証しましょう（教義と聖約 58：6 参照）。

神殿の光

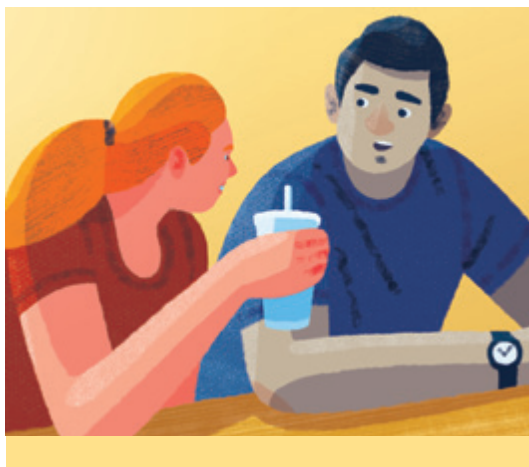
何年か前の夏、ワードの若い男性たちでマウンテンバイクに乗って出かけました。わたしは初めてだったので、少し緊張していました。友人のジェーコブはマウンテンバイクに慣れているので、彼の近くにいるようにしました。

頂上での短い休憩の後、わたしたちは山を下り始めました。わたしはグループのみんなより遅れていましたが、何度か急なカーブで転んでしまったため、さらに遅れてしまいました。ジェーコブは、わたしが転ぶ度に止まって助けてくれて、わたしたちはほかのみんなに追いつこうと頑張っていました。

日が沈むころには、わたしたちが明らかに道に迷ってしまったことが分かりました。グループのメンバーを最後に見かけたのは30分以上も前で、辺りはだいぶ暗くなり、道がほとんど見えないほどでした。わたしは、先に進めるように、助けと勇気を求めて天の御父に祈りました。ジェーコブとわたしは、ある方向に引き続き進むことを決めました。角を曲がると、最も輝かしく、見覚えのある景色が見えました。ユタ州ドレーパー神殿です。神殿に反射する光が道を照らし、わたしたちは指導者や友人のもとに無事にたどり着くことができました。

神殿を見る度に、そこで受けることができる平安と助けについて思い起こします。この世の暗闇の中で迷うときはいつも、必要な光を神殿で見いだすことができます。■

ジョエル・G (アメリカ合衆国, ユタ州)



新しい友人を作る

わたしはテーブルに座って友人と昼食を食べているときに、見慣れない少年に気がつきました。マイケルです。彼は年上のグループの少年たちと座ろうとしましたが、彼らはマイケルをからかい始めました。わたしはマイケルには自閉症があることを後で知りました。

マイケルに、もしよかったらわたしたちと一緒に座らないか尋ねました。彼はわたしたちの誘いを断りました。またからかわれるのではないかと恐れを感じたのかもしれませんが。

翌日、わたしはマイケルを友人たちに紹介しました。わたしが彼のことを諦めなかったことを、喜んでくれているのが分かりました。彼はたくさん話題を提供してくれました。すばらしい人でした。

日ごとに、マイケルが幸せそうになっていくのが分かりました。彼は友人とお昼を食べるのを楽しみにするようになりました。マイケルと昼食で一緒に座るようになって、すぐに有意義な友情が芽生えました。それはマイケルだけでなく、わたし自身にとっても助けとなりました。

ほかの人々に仕えることを通じて感じる気持ちは、何ごとにも代え難いものです。■

ローラ・P (アメリカ合衆国, イリノイ州)



キリストを信じるまことの信仰を
ごくわずかでも行使するなら、人生を

**信仰, 喜び,
幸福, 希望,
愛**



で満たすことができます。

M・ラッセル・バラード会長
十二使徒定員会会長代理
「神から与えられる貴重な賜物」2018年4月総大会

預言者 —— 神の愛のしるし

十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

ラッセル・M・ネルソン大管長が地上における神の預言者であることを証したいと思います。ネルソン大管長ほど優しく愛の深い人に会ったことがありません。わたしは十二使徒定員会の一員として、この神聖な召しを果たすに十分な力が自分になことを痛感しましたが、この責任を伝えるネルソン大管長の言葉を聞き、その優しいまなざしを見て、救い主の愛に包まれるのを感じました。

主の御心を知らうと努め、御心に従おうと努力している預言者、聖見者、啓示者が、わたしたちの生きているこの時代に地上にいることは、すばらしい祝福です。人生で困難があっても、自分がこの世で独りでないことが分かると、心が安らぎます。預言者がいることは、神がその子供たちを愛しておられることのしるしです。預言者は、主の民に神とイエス・キリストの約束を知らせ、御二方がどのような御方なのかを教えてください。

預言者は聖なる御霊の力によって語るということを、わたしは心の底か

ら証します。預言者はキリストと、キリストが地上で果たされた神聖な使命について証してくれます。主の思いと御心を伝える人々であり、主を代表し、神と御子イエス・キリストのみもとに帰るために何をしなければならぬかを教えるために召されています。信仰を働かせて彼らの教えに従うならば、祝福されます。彼らの教えに従うならば、幸せになり、煩いが少なくなり、困難や問題に耐えるのが容易になります。また、霊的なよろいで身を固めて、今の時代の敵の攻撃から自分を守ることができるようになります。

イエス・キリストはよみがえり、生きておられ、地上にある主の教会を主の預言者、聖見者、啓示者を通して導いておられることを、厳粛に証します。主が世の救い主、贖い主であられ、主を通してわたしたちが救われて、愛する神の御前に昇栄できることを証します。わたしは主を愛し、あがめています。主に従い、主の御心を行い、さらに主のような者になりたいと思っています。■

2018年4月の総大会説教から。



1958年10月2日
ブラジル、
サンパウロで
生まれる。

6歳のときに
家族で教会に加わった。

専任宣教師として

ブラジル・
リオデジャネイロ伝道部
で奉仕した。



教皇庁立
サンパウロ・
カトリック大学
に通った。

(会計学と経済学で
学士号を、経営学で
修士号を取得。)

1982年10月、
ブラジル・
サンパウロ神殿
でロサナ・
フェルナンデスと
結婚。
3人の子供と
3人の孫がいる。



母語のポルトガル語の
ほかに、
英語、フランス語、
スペイン語を話す。

2018年3月31日、

使徒として
支持される。



おも
思いやり,
わか
分かち合う
あ

マロエレ
レイ!

ぼくはルイです。
ぼくは、自分が持っている
ものを人と分かち合うこと
によって、光をかがやか
せて
います。

おお しま おお 家族
大きな島と大きな家族
ぼくはトンガの大きな島に住んで
います。ぼくには6人の姉妹と
4人の兄弟がいます。トンガのヌ
クアロファ神殿の近くにすんで
います。

1



3

食べ物を分かち合う

ぼくのお父さんは作物を育てているので、ぼくの家族にはたくさんの食べ物がああります。でも、たくさんの未亡人（夫がなくなった女の人）やほかの家族は、自分で育てている作物がありません。だから、ぼくの両親は作物をそのような人々とどけます。ぼくは両親と一緒に手伝うのが好きです。



2

理科が大好き

ぼくたちの島には、たくさんの美しい植物や動物がいます。ぼくは光の海小学校の4年生で、好きな科目は理科です。



4



ココナツの皮をとどけるのを助ける

ぼくたちが訪問する未亡人の人々は、食べ物を料理する火をおこすのに、ココナツの皮を使います。両親が食べ物を持って行くとき、ぼくはいつもココナツの皮も持って行くのをわすれないようにと伝えます。火おこしのお手伝いもしたいんです！



助けることで得られる祝福

人を助けるとき、天のお父様はぼくにすばらしい祝福をあててください。お金の祝福ではなく、知恵と知識の祝福です。ぼくはいつも人を助けて、自分が持っているものを分かち合いたいと思っています。



どのようにかがやくことができますか

- 必要な人に食べ物をとどける。
- 地域のフードバンクに食べ物を寄付する。
- ホームレスのシェルターに、洋服を寄付する。

星を送ってください！

イエスはわたしたちに、「光を人々の前にかがやか〔せなさい〕」と言われました（マタイ 5：16）。あなたは、どのように光をかがやかせますか。あなたの経験を書いた星の写真と、あなたの写真、お父さんやお母さんのきよか書を liahona@ldschurch.org に電子メールで送ってください。





こたえられたいのり

メーガン・アームクネヒト

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

第二次世界大戦中、グレースという11才の女の子がオランダに住んでいました。グレースのお父さんは、戦争のためにとらえられ、ろうやに入れられていました。

お父さんが連れて行かれてからは、お母さんがグレース、二人の弟、そして二人のいとこの面倒を見てくれました。食べさせなければならぬ人はたくさんいるのに、食べ物はずかしかありませんでした。手に入れることができたのは、ほんの少しの小麦粉と野菜とじゃがいもだけでした。

ある日、玄関のベルが鳴りました。グレースはお母さんの後に続いて、だれが来たのか見に行きました。お母さんがドアを開けると、玄関に立っていたのは、わかいナチスの将校でした。グレースの心臓のどきどきは早くなり、息を飲みました。何をしに来たのでしょうか。

「この家に住んでいるのは何人だ？」将校がぶつきたらぼうにたずねました。

「わたしと子供三人と、二人のおいでです」とお母さんが言いました。

「夫はここには住んでいないのか？」と将校がたずね、

「はい、住んでいません。連れて行かれました。」とお母さんは答えました。

将校は家の中を見渡しました。「ラジオはあるか？ 敵国イギリスやアメリカの番組を聞いてはならない。」

お母さんはラジオを持って来ると、将校に手渡しました。将校はもう一度家を見渡すと、「大きな家だ」と言いました。「たった数人で住むには大きすぎる。明日、家を明け渡すように。この家をぼっしゅうする。」将校はさっと向き

を変え、行進して去って行きました。

グレースは自分の耳をうたがいました。お母さんは、ショックのあまり目を丸くしていました。それから、お母さんは玄関のドアをしめると、すぐに家のうらに行きました。

グレースはゆっくりその後ろをついていきました。心臓がどきどきしていました。将校はほんとうにもどって来て、ラジオと同じように、家をうばってしまうのでしょうか。どうすればよいのでしょうか？ どこに行けばよいのでしょうか？ お父さんはどうやって自分たちを見つかけられるのでしょうか？

グレースがお母さんの部屋のドアの前に立ち止まって、中をのぞくと、お母さんはひざまずいていました。グレースはそっと居間にもどって、お母さんがもどって来るのを待ちました。

「ねえ、お母さん。どうすればいいの？」グレースがたずねると、

お母さんはため息をつきました。「わたしたちにできるのは、神様が守ってくださるように、いのって信頼することだけよ。」

ナチスのわかい将校は次の日も、その次の日ももどって来ませんでした。結局、一度ももどっては来ませんでした。グレースの家族は家を手放さずにすみしました。

グレースは、神様が家族を助けてくださっていると知っていました。戦争は終わってはいませんでした。それでも神様は家族を見守ってくださっていました。

つづく

このお話を書いた人は、アメリカ合衆国ニュージャージー州に住んでいます。



ILLUSTRATION: MARY ANN



「救い主は言われました。『わたしはあなたがたをすてて孤児とはしない。』〔ヨハネ 14：18〕これはみなさんに対する救い主の約束です。わたしはこの約束が真実であると知っています。わたしは主が生きておられることを知っています。」

十二使徒定員会

ニール・L・アンダーセン長老

「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号, 21 参照



七十人

ホアキン・E・
コスタ長老

あらしをしのぐさけ所^{どころ}



「しかし、わたしに聞きしたがう者は安らかに住まい、わがわいに会うおそれもなく、安全である。」(箴言1:33)

わたしはアルゼンチンで育ちました。子供のときは、教会員ではありませんでしたが、家族はいつもたなに聖書を置いていました。その聖書は大きくて、きれいな絵がありました。家族で一緒に読んだことはあまりありませんでしたが、わたしはページをめくって、絵を見たり、物語を読んだりするのが大好きでした。

わたしはノアの物語が好きでした。ノアや洪水や動物を見るのが大好きでした。箱舟がノアや家族をあらしから安全に守ってくれたところが好きでした。

その後、わたしはバプテスマを受けて教会に入り、結婚し、家族を持ちました。あるばん、家庭の夕べの中で、妻のレニーがノアの箱舟とわたしたちの家がいろいろ点でていることを話しました。どちらも、この世のおそろしいあ

らしから安全に守ってくれます。

ノアについてあることを学びました。ノアはまだ10才のときに神権を受けました。大きくなるにつれて、この世のあらゆる悪を見ました。でも、かれはふさわしくあり続けました。自分の家族を救うために、箱舟を作りました。天のお父様は、ノアと家族を安全に守ってくださいました。

時々、世の中でおそろしい出来事が起こっているのを見ます。でも、わたしたちはあらしからのさけ所を見いだすことができます。ノアのようにそなえることができます。わたしたちは神にしたがうことを選ぶことができます。自分の家を、安全な、れいのさけ所にするすることができます。

天のお父様に信仰を持ってば、おそれる必要はありません。お父様のおかげで、どんなあらしがおそってきても、平安を感じるすることができます。■

イラスト/バーバラ・ボウケン

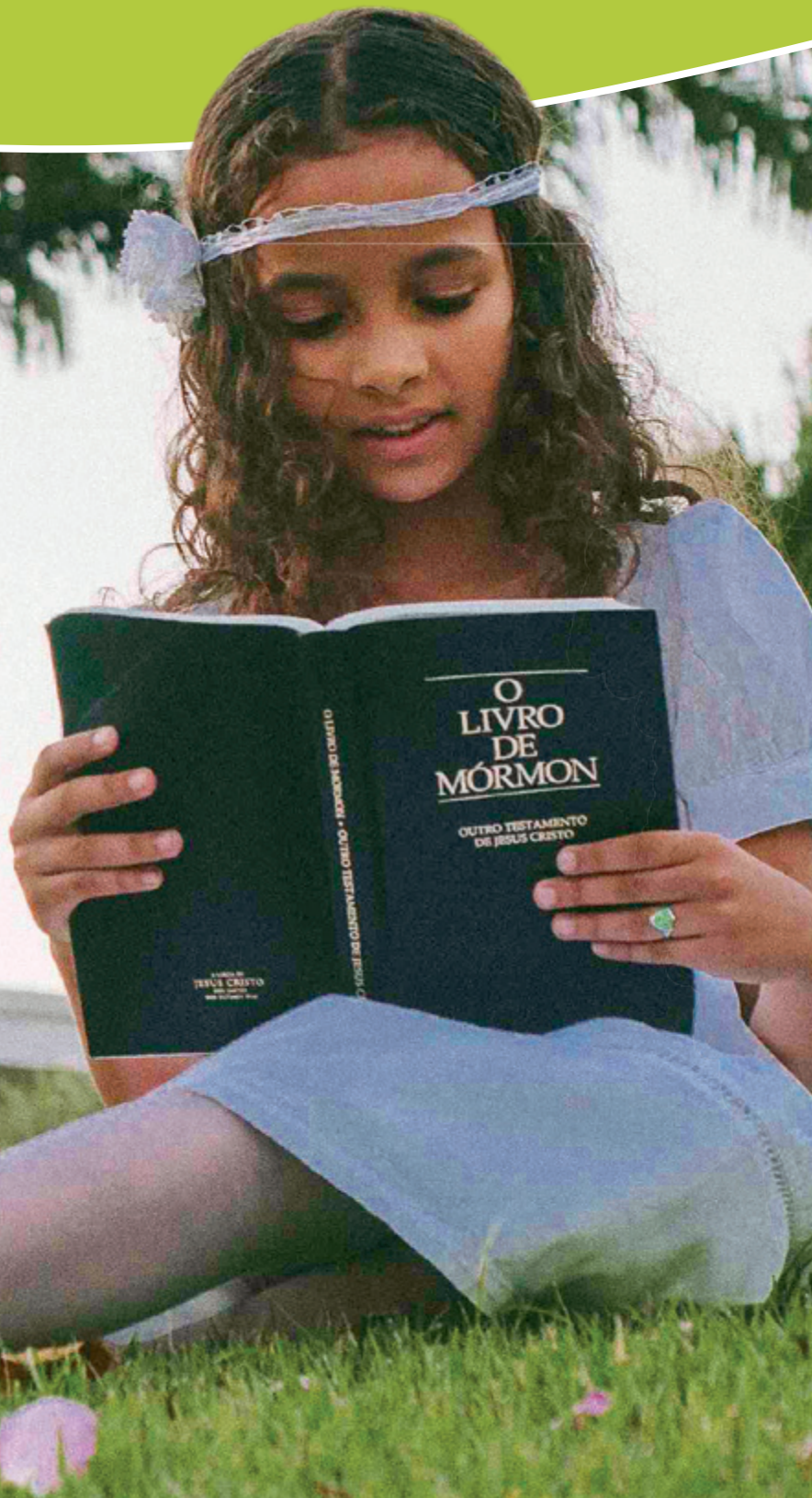
モルモン書
読書
クラブ

モルモン書を読んで、クラブに入ってください！

自分で、あるいは家族や友達と読むことができます。それから、モルモン書を読んでいる自分の写真を送ってください。そして、モルモン書を読んで学んだことや、モルモン書の中で好きな物語を教えてください。あなたの話を liahona.lds.org に投稿してください（「投稿する」をクリックしてください）。

今月のせい
モーサヤ 2:17

「あなたがたが同胞のためにつとめるのは、とりもおさず、あなたがたの神のためにつとめるのである。」





わたしは、モルモン書が大好きです。ほんとうの本だからです。それは神様からの聖典で、わたしはモルモン書を信じています。
ジョエル・S (右), 8才 (インド, マハーラーシュトラ)



フランスのル・ド・フランスにある、このワードの初等協会の子供たちは、毎日モルモン書を読むようにチャレンジされました。目標を達成すると、達成賞をもらいました。



わたしはリーハイのじげんの物語が好きです。読むと幸せな気持ちになります。命の木にたどり着けるように、良い選りばいをしなければならぬことを教えてください。命の木は、天のお父様やイエス・キリスト、そして愛するすべての人々と一緒に生活できることを象徴しています。
サディー・S, 9才 (ザンビア, ルサカ)



わたしたちはモルモン書を愛しています。なぜなら、福音について、特にイエス・キリストについて学べるからです。モルモン書をあたえてくださった神様に感謝しています。イエス・キリストがわたしたちの救い主だと学ぶことができ、そのおかげで、人生に大きな助けとなりました。
アルフィー・B, 6才とアンナ・B, 8才 (インド, マハーラーシュトラ)



わたしは、バプテスマを受ける前に子供のためのモルモン書を読み終わりました。本の終わりに、お母さんがモルモン書についていのあるように話してくれました。読んでいるとき、その言葉は真実だと感じていました。
ショーン・I, 7才 (イギリス, サマーセット)



モルモン書はわたしの大好きな本です。わたしは、ニーファイのもはんが大好きです。ニーファイは、モルモン書の中の、わたしのスーパーヒーローです。ニーファイは神のいましめにとっても従順です。わたしはニーファイのようになりたいです。
ジェトロ・F, 10才 (フィリピン, イロイロ)



ステージうらでささげたいのり



エミリー・B, 12才 (アメリカ合衆国, ユタ州)

わたしの好きな趣味の一つは、アイリッシュダンスです。おどるじゅんぴのために、家で一生懸命練習しています。たくさん練習しますが、ステージのうらで出番を待っているとき、よくきんちょうします。大会のときはいつも、お母さんとわたしは静かな場所を見つけておいのりをします。カーテンのかけや、部屋のすみでいのることもあります。天のお父様にとって、わたしたちがどこでいのるかは関係なく、ただ信仰を持っていることが大切だと知っています。この前のダンスの発表のとき、お母さんは一緒に祈りま

せんでした。観客席で見えていました。わたしはほんとうにきんちょうしましたが、お母さんが一緒にいるかどうかは関係ありませんでした。友達からはなれて、いのりました。安全におどれるように、そしてベストをつくせるように願い求めました。その日、とてもよくおどれました。そしてステージに歩いて行くときに感じた平安な気持ちを忘れません。わたしたちは、いつも天のお父様を信頼することができます。いつでも、わたしたちがどこにいても、神様はいつも聞いてくださいます。■



クリスチャン・B, 7才 (オランダ, 北ホラント)

今年の初め、よく一緒に本を読んだり、物語を書いたりしている友達が、がっかりしながら教室に来ました。算数の問題で間違ってしまったのです。「わたしは役立たずなの」と友達が言いました。

ぼくは友達のことを心配して、イエス様のことやイエスがどのようにわたしたちを愛しておられるかを話しました。だから、ぼくたちは役立たずではないということを知りました。それから、彼女のために「神の子です」を歌いました。友達はそれがとても気に入って、どこでそんなことを習ったの

かを聞いてきました。ぼくは、家族で毎週教会に行っていて、初等協会ではイエス様についてたくさん学ぶことを話しました。

その夜、友達はその日話したことをお母さんに伝えて、自分たち家族も、ぼくの家族と一緒に教会に行ってもいいかどうか聞きました。すると、友達のお母さんは行ってもよいと言ってくれました。

その日曜日、友達と私は聖餐会でぼくのとなりになりました。今、友達はほとんど毎週教会に来ています。友達とその両親は、宣教師やワードの会員からイエス・キリストの福音について、もっともっと学んでいます。

ぼくは、救い主のもはんになって、悲しんでいる友達をなぐさめることができ、とてもうれしいです。友達の家族がバプテスマを受ける決心をしてもなくても、何よりも素晴らしいことは、神様とイエス様が、何があっても彼女のことを愛しておられることを彼女が知っているということです。■

何があっても!



イラスト: マイク・テイラー

エリヤとやもめ

キム・ウェブ・リード



エリヤという^{よげんしゃ}預言者が、^{ひとひと}人々に^おききんが起ると^{けいこく}警告しました。^{あめ}雨がふらず、^{しょくぶつ}植物は^{そだ}育たない
だろうと^つ告げました。^{あいだ}ききんの間、^{おがわ}エリヤは^{みず}小川の^の水を^{のみ}飲みました。^{かみさま}神様は^{とり}鳥を^{おし}送ってエリ
ヤに^た食べ物^{もの}をお^{おがわ}あたえになりました。でも、^{おがわ}小川の^{みず}水が^{かみさま}なくなってしまいました。神様はエリ
ヤに、^{まち}町に^{おんな}いる^{ひと}ある^{おんな}女の^{ひと}人を^たさがしなさい、^たその^{もの}女の^{もの}人が^た食べ物^{もの}をあ^いたえてくれるだろうと^い言
われました。

エリヤは、たきぎを拾っている
 女の人を見つけました。
 エリヤは、何か食べ物を
 くれるようにたのみました。
 女の方は、自分と息子が
 食べるためのほんの少しの
 小麦粉と油しか持っていない
 と言いました。



預言者は、もし食べ物を自分に分けてくれたら、これ
 から食べ物がなくなることはないだろうと約束しまし
 た。やもめは、預言者エリヤを信じて、食べ物を分
 けました。

毎日毎日、3人が食べるのに
 十分な食べ物がありました。
 それはきせきでした！それから、
 やもめの息子が病気になっ
 てなくなりましたが、
 エリヤが生き返らせました。
 やもめは、預言者に聞きしたがう
 ことによって、祝福を受けました。





わたしも、^{よげんしゃ}預言者に^き聞きしたがうとき、^{しゆくふく}祝福を^う受けます。■

^{れつおうじょう}列王上 ^{しじょう}17章から。

色をぬりましょう

わたしは真実を伝えることができます

子供





十二使徒定員会
マーク・E・
ピーターセン長老
(1900-1984年)

生ける 預言者たちに 導かれて

神はいつも生ける預言者を通じて民に語りかけておられます。

編集者注：1972年7月、第10代大管長ジョセフ・フィールドディング・スミスが亡くなり、同年10月の総大会でハロルド・B・リーが新しい大管長として支持されました。これはその総大会におけるマーク・E・ピーターセン長老の話を抜粋したものです。

新しい神の預言者は……今の世を導き、耳を傾けるあらゆる老若男女に天からの新しい啓示をもたらすために、神から召され靈感を受けた人々の系譜につながる人物です。

この新しい預言者の任命は、神を信じるあらゆる人々にとって、とりわけ、主イエス・キリストを信じる人々にとって、重大な意味を持つものです。

主は、この地上に御自分の民と認める民を置かれるかぎり、どのような時であっても、生ける預言者たちに天から導きを与えることによって、その民を導いてこられました。……

現在、この近代においても、同様に靈感を受けた人々の系譜が確立しています。これは、主の末日の聖見者ジョセフ・スミスを通じて、主イエス・キリストの福音が回復された結果として成就したことです。



一般に信じられていることとは異なり、主は人々と語られる神であり、啓示の神であられます。また、光と英知の神であり、知識と見識の神でもあられます。主は闇の中で物事をなされず、無知のままて人を救うこともなさいません。主の救いの計画全体は、光を注がれた民とのやり取りの上に築かれています。

無知のままて、だれが知的な礼拝をすることができのでしょうか。

神を知らずして、だれが意味のある信仰を持つことができのでしょうか。

また、もしこの知識が神御自身からもたらされるものでないとしたら、それは一体どこから来るのでしょうか。……

人というものは主の道を学ぶのが遅く、特に、主御自身が人々と意思の

疎通を願っておられるにもかかわらず、ある事実をなかなか受け入れません。それは、主、御自身が靈感を受けた生者たちを預言者として指名し、彼らを通して人に御心をお伝えになるということです。

これが主と交わる方法です。主の定められた方法であり、主はそれを一度も変更されたことはありません。主は、昨日も、今日も、またとこしえに変わることのない御方であり、主の方法も同様です。……

わたしたちは厳かに証します。天と地の間の交わりは、この時代に、再び打ち立てられました。わたしたちは、神はこの世から隔絶されていないと宣言します。

神は死んではおられません。生きておられます。

目がお見えにならないわけではありません。見ておられます。

耳が聞こえておられないわけでもありません。聞いておられます。

口を利けないでおられるわけではありません。語っておられます。生ける預言者たちを通じて、そして、彼らを通じて世の多くの人々にも、雄弁に語っておられます。

このようにして、神は皆さんに今日も語っておられるのです。■

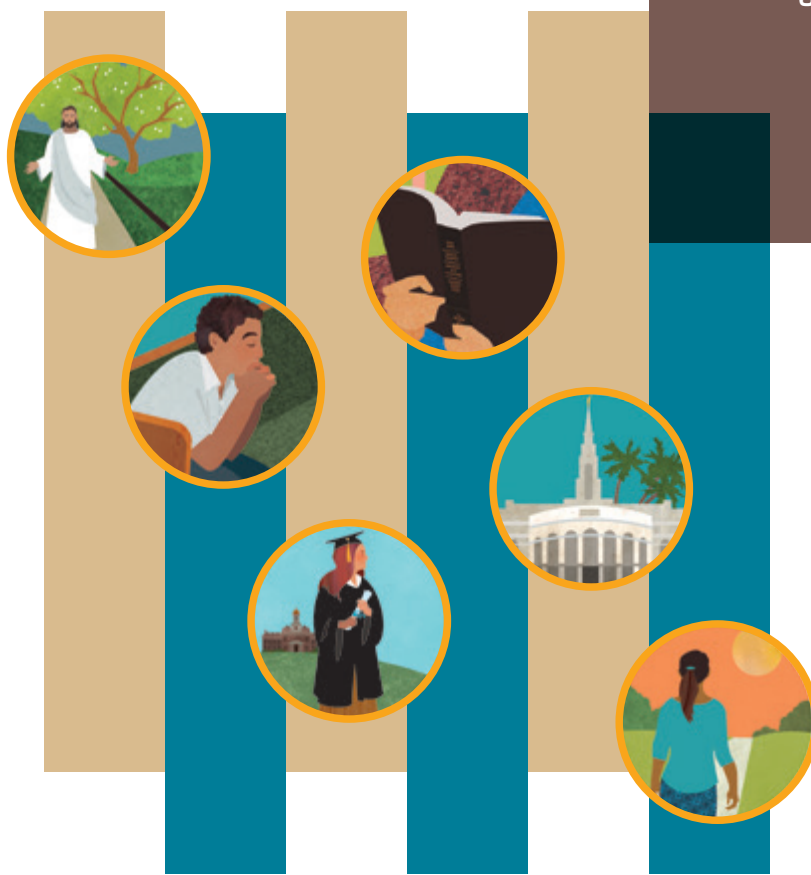
「今、他の予言者をまた送らる」『聖徒の道』1973年9月号、425 - 428から。表現は現在の用法に改められました。



BE OF GOOD CHEER; IT IS I;
BE NOT AFRAID (しっかりするの
だ、わたしである。恐れることはな
い) BY LOZANO MORENO

夕方になったとき、舟は海のまん中に出ており、イエスだけが陸地におられた。ところが逆風が吹いていたために、弟子たちがこぎ悩んでいた。イエスは、海の上を歩いて彼らに近づかれた。みんなの者がそれを見て、おじ恐れた。

「しかし、イエスはすぐ彼らに声をかけ、『しっかりするのだ。わたしである。恐れることはない』と言われた。そして、彼らの舟に乗り込まれると、風はやんだ。彼らは心の中で、非常に驚いた。」(マルコ6:47-51 参照)



ヤングアダルト

霊的に生き残るための
6つの提案

44

青少年

自殺を防ぐために
ともに働く

50, 52

青少年のレッスンのための
テーマ

戒め —
どのように
自由にしてくれますか

60

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



5